

# 志賀町人口ビジョン



『西能登 あかり』



志賀町

# 目 次

## 1. 人口ビジョンの考え方

- 1) 志賀町人口ビジョンの位置付け…………… 1
- 2) 志賀町人口ビジョンの対象期間…………… 1
- 3) 国の人口ビジョン（長期ビジョン）の考え方…………… 1
- 4) 志賀町人口ビジョンの考え方…………… 2

## 2. 志賀町の現況

- 1) 総人口の推移…………… 3
- 2) 人口ピラミッド…………… 4
- 3) 人口・世帯数・世帯人員の推移…………… 5
- 4) 年齢3区分別人口の推移…………… 5
- 5) 年齢3区分別人口割合の推移…………… 6
- 6) 産業別人口…………… 7
- 7) 自然動態の推移…………… 9
- 8) 合計特殊出生率の推移…………… 9
- 9) 社会動態の推移…………… 10
- 10) 男女別・年齢階級別社会動態の推移…………… 11
- 11) 転入・転出先…………… 12
- 12) 男女別転入・転出先…………… 12
- 13) 年齢区分別転入・転出の状況…………… 13
- 14) 男女別・年齢区分別の転入・転出の状況…………… 14
- 15) 県内外別・年齢区分別の転入・転出の状況…………… 15
- 16) 男女別・県内外別・年齢区分別の転入・転出の状況…………… 15
- 17) 現況の総括…………… 16

## 3. 志賀町の将来人口

- 1) 推計パターンの考え方…………… 17
- 2) 志賀町の人口推計（2060年まで）…………… 18
- 3) 将来推計のまとめ…………… 22

## 4. 志賀町が目指す将来人口

- 1) 独自推計パターンの考え方…………… 23
- 2) 志賀町の将来人口（独自推計）…………… 23
- 3) 年齢別の人口構成…………… 24

- <参考> アンケート調査結果…………… 25

# 1 人口ビジョンの考え方

## 1) 志賀町人口ビジョンの位置付け

志賀町人口ビジョンは、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」を踏まえた志賀町の人口の現状分析と将来推計により、今後、志賀町の目指すべき将来の方向性と人口の将来展望を示しています。

志賀町人口ビジョンにおいて設定した将来人口は、行政・町民が志賀町の人口に関する現状を共通認識し、「志賀町総合戦略」における施策を推進していくための指標のひとつとなります。

## 2) 志賀町人口ビジョンの対象期間

今後の定住や出産に関する施策等の効果が志賀町の総人口や年齢構成に反映されるまでには長い期間を要することから、志賀町人口ビジョンの対象期間は、国の長期ビジョンの期間と整合を図り、2060年（平成72年）とします。

## 3) 国の人口ビジョン（長期ビジョン）の考え方

### (1) 人口問題に対する基本的視点

国の長期ビジョンでは、人口問題に対する今後の基本的視点として、以下のものを掲げています。

● 3つの基本的視点から人口減少に向けた「積極戦略」と「調整戦略」を推進

- ① 「東京一極集中」を是正する
- ② 若い世代の就労・結婚・子育ての希望を実現する
- ③ 地域の特性に即した地域課題を解決する

● 国民の希望の実現に全力を注ぐ

- ① 地方への移住の希望に応え、地方への新しいひとの流れをつくる
- ② 若い世代の就労・結婚・子育ての希望を実現する

● 若い世代の結婚・子育ての希望に応える

- ① 晩婚化または非婚化の改善に向けた、「質」を重視した雇用の確保
- ② 子育て支援と働き方、そして子育て支援の充実
- ③ 子育てと就労を両立させる働き方の実現

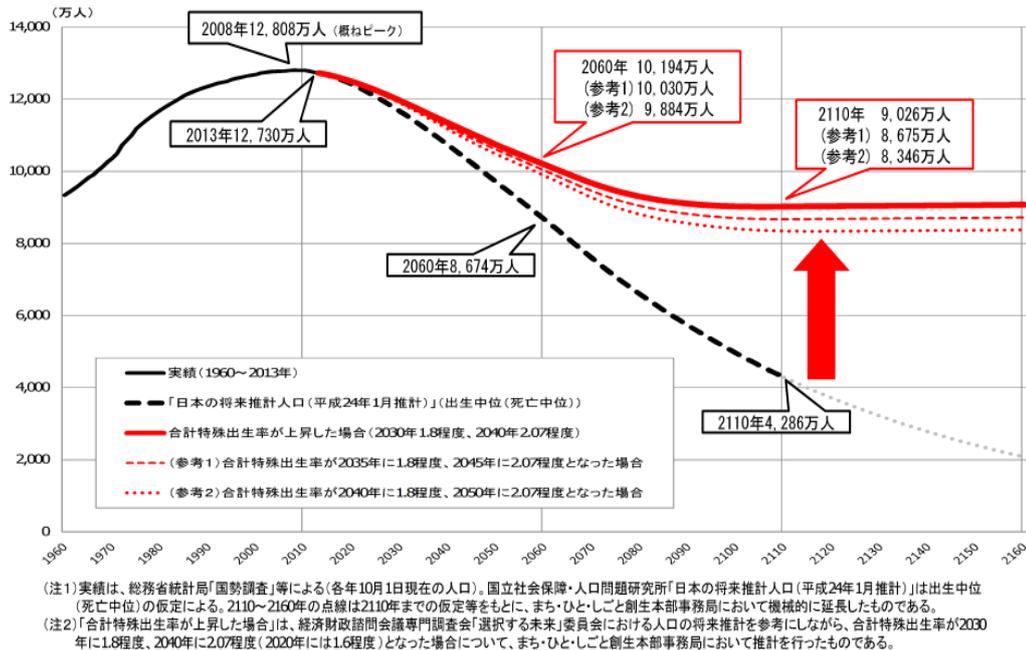
### (2) 目指すべき将来の方向

国立社会保障・人口問題研究所によると、2013年に約1億2700万人であった我が国の総人口は、2060年には約8,700万人にまで減少すること想定されています。

若い世代が希望する出生率は1.8程度であり、また今後、人口の規模・構造の安定には、出生率が人口置換水準（人口規模が長期的に維持される水準人口で、現在は2.07）まで回復することが必須と考えられています。

そのため、2030年頃に合計特殊出生率が1.80程度、2040年頃に出生率が2.07まで回復することを目標としています。

## 【我が国の人口の推移と長期的な見通し】



出典：まち・ひと・しごと創生長期ビジョン

### (3) 地方創生が目指す方向

2060年において概ね1億人の人口を維持するために、地方創生が目指す将来の方向性を、以下のように定めています。

- ①自らの地域資源を活用した、多様な地域社会の形成を目指す。
- ②外部との積極的なつながりにより、新たな視点から活性化を図る。
- ③地方創生が実現すれば、地方が先行して若返る。

### 4) 志賀町人口ビジョンの考え方

我が国では、2008年から人口減少時代に突入し、今後人口減少による消費・経済力の低下等が懸念されています。東京・大阪・愛知などの都市圏では、地方からの人口流入により、今後も一定期間は人口の増加が継続すると予測されていますが、地方都市では人口を維持していくことも困難な状況にあります。

国立社会保障・人口問題研究所(以下、社人研)の将来推計人口は、過去の実績からも高精度な推計であると言われ、国が目標としている女性の合計特殊出生率の増加による将来推計人口は、希望的な予測との見方も否定できません。

そのため、志賀町人口ビジョンでは、町として確保すべき将来人口の「目標値」を設定するのではなく、志賀町の人口動向(自然増減・社会増減※)や国・県・町の各種施策を勘案した将来人口を設定します。

※自然増減：人口の増減のうち、出生と死亡によるもの

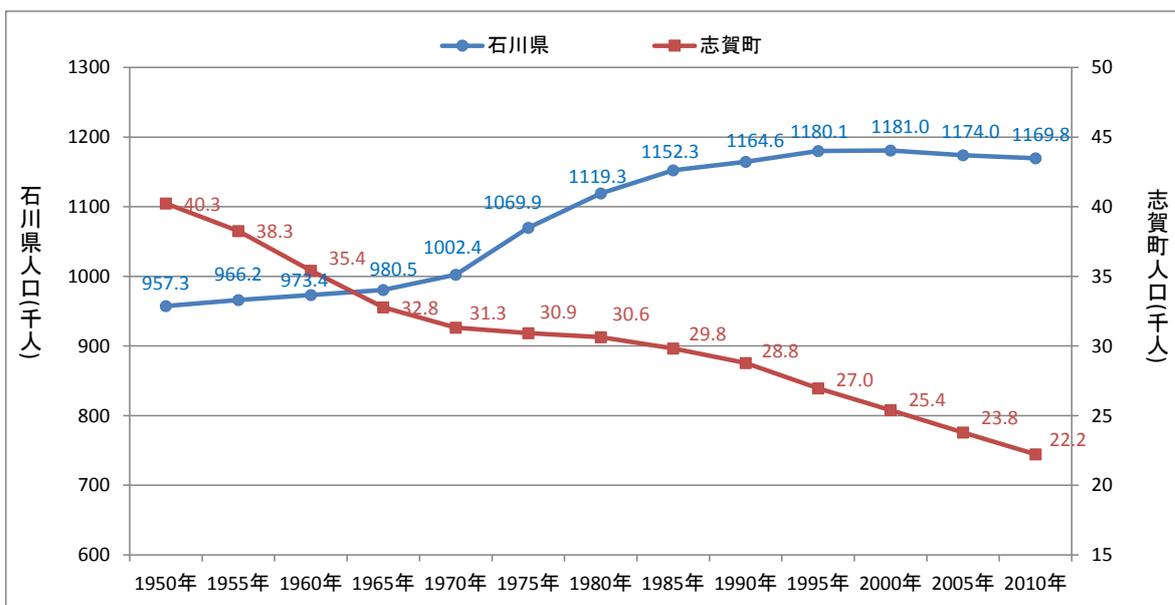
社会増減：人口の増減のうち、他地域からの転入、あるいは他地域への転出によるもの

## 2 志賀町の現況

### 1) 総人口の推移

- 志賀町では1970年（S45）までは急激に人口が減少していますが、1985年（S60）までは緩やかな人口減少が続き、1985年（S60）以降は再び急激な人口減少となっています。
- 石川県では2000年（H12）までは人口が増加していますが、同年の1,181,000人をピークに人口減少に転換しています。

【志賀町及び石川県の人口推移】

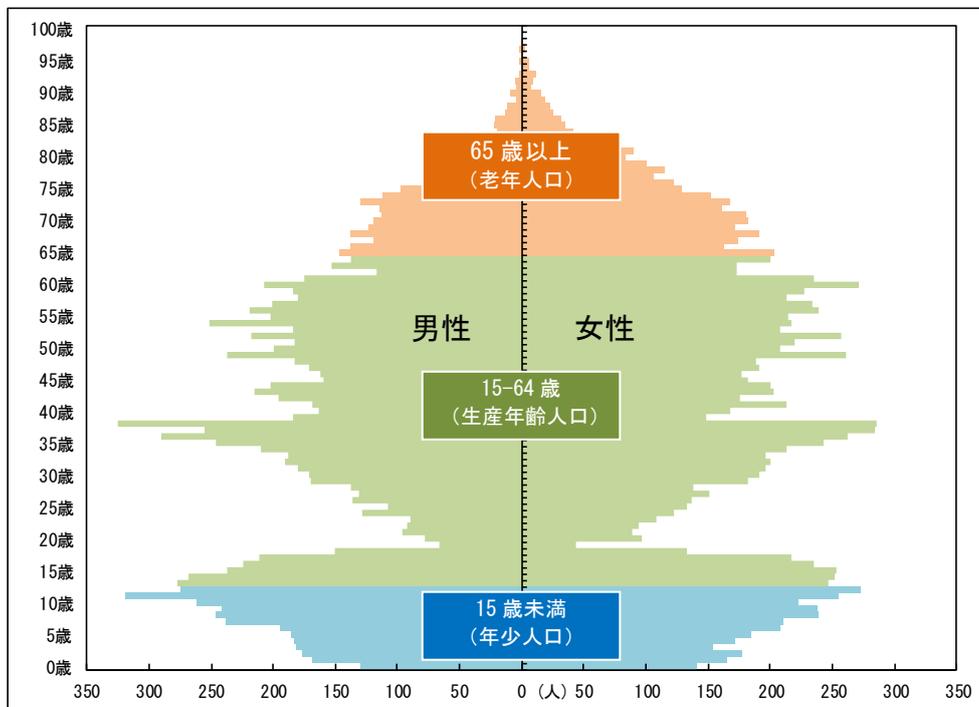


出典：国勢調査

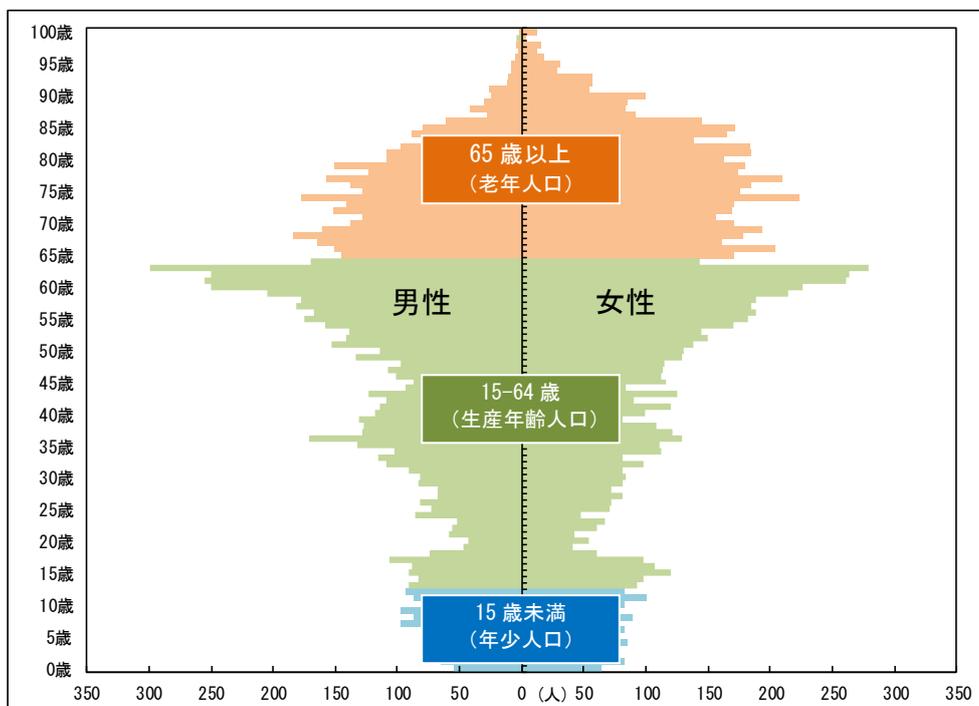
## 2) 人口ピラミッド

- 65歳以上（老年）の人口が増加しており、今後さらに老年人口が増加することが予想されます。

【1985年の人口ピラミッド】



【2010年の人口ピラミッド】

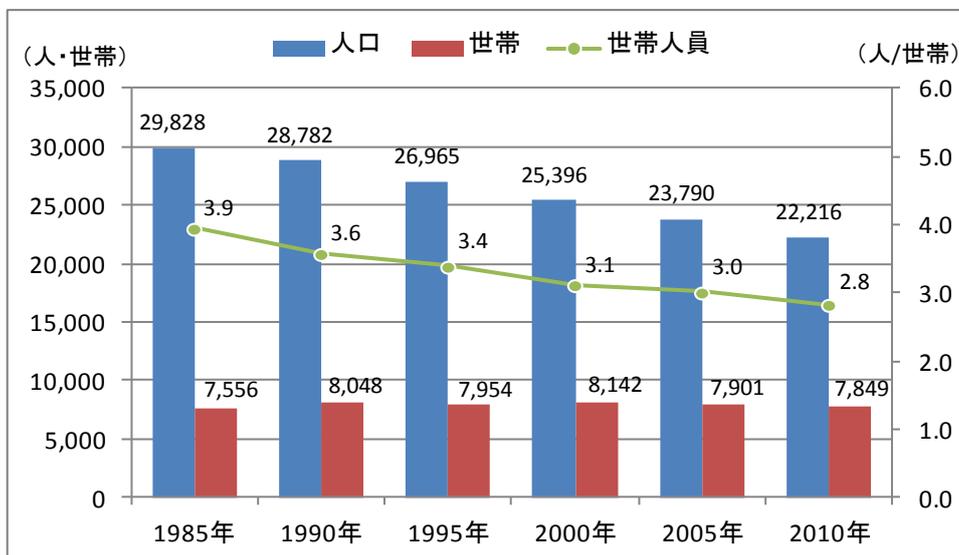


出典：国勢調査

3) 人口・世帯数・世帯人員の推移

●1985年以降、人口、世帯人員は減少傾向にあり、世帯数も2000年以降、減少傾向にあります。

【人口・世帯数・世帯人員の推移（国勢調査：1985年～2010年）】

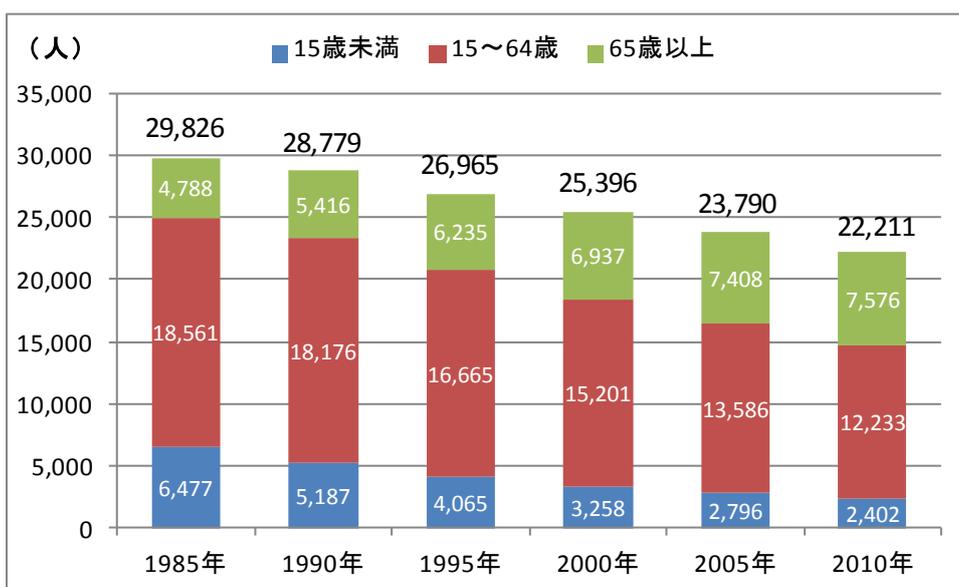


出典：国勢調査

4) 年齢3区分別人口の推移

●65歳以上の人口は増加を続けていますが、15歳未満、15～64歳の人口は減少傾向にあります。

【年齢3区分別人口の推移（国勢調査：1985年～2010年）】



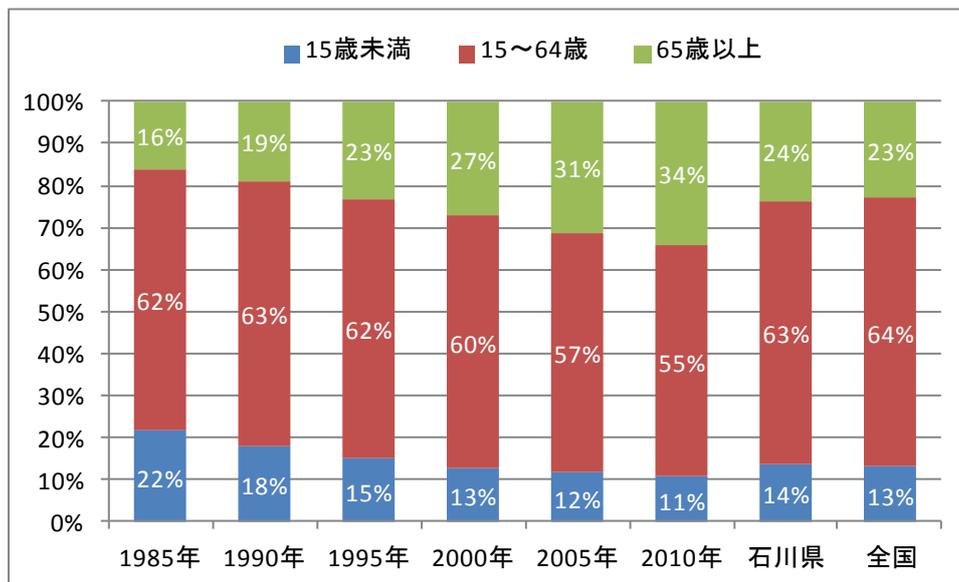
※年齢不詳は除く

出典：国勢調査

### 5) 年齢3区分別人口割合の推移

●石川県、全国と比べ65歳以上の割合は高く、65歳未満の割合が低くなっています。男女別にみると女性の65歳以上の割合が男性と比べて年々高くなってきています（1985年：5ポイント差→2010年：9ポイント差）。

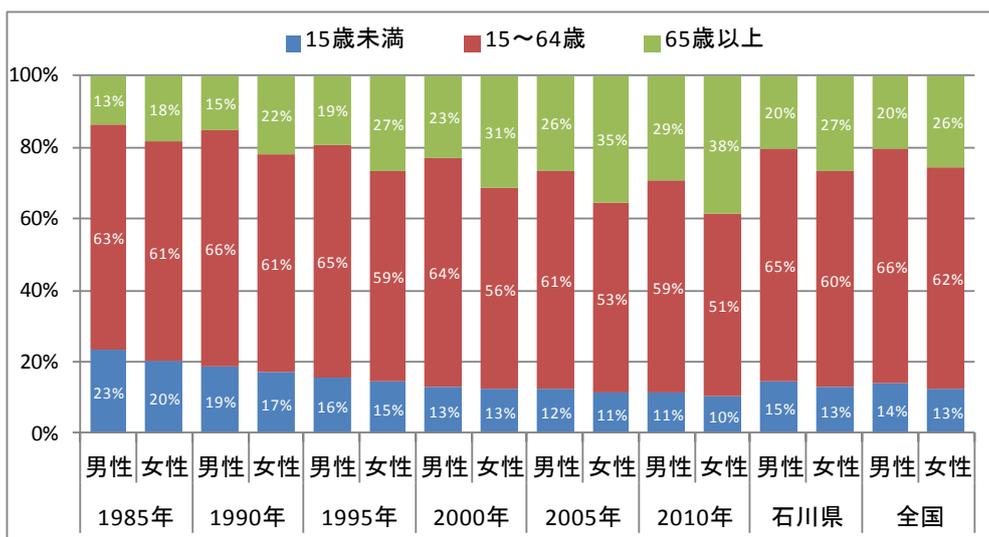
【年齢3区分別人口割合の推移（国勢調査：1985年～2010年）】



※年齢不詳は除く

出典：国勢調査

【年齢3区分別人口割合の推移（国勢調査：1985年～2010年）】



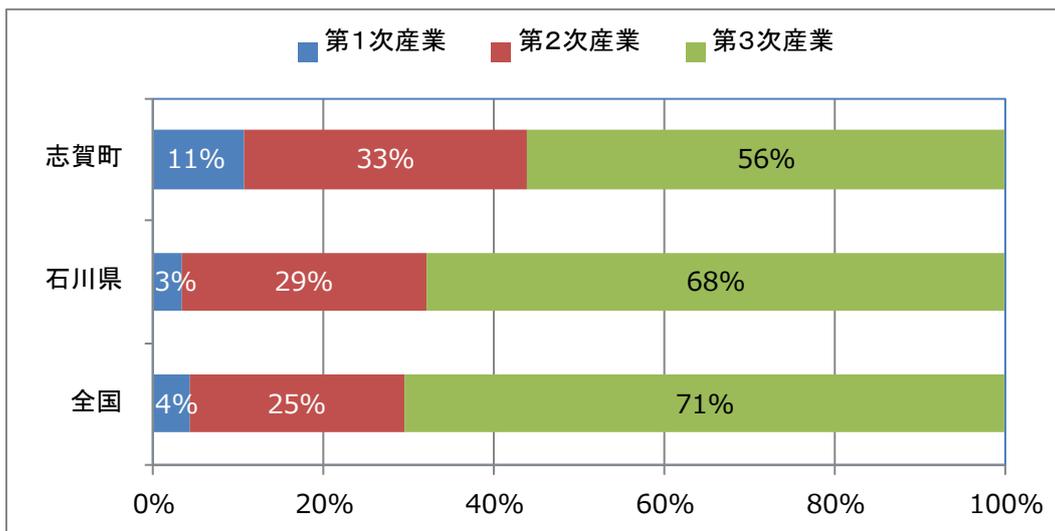
※年齢不詳は除く

出典：国勢調査

6) 産業別人口

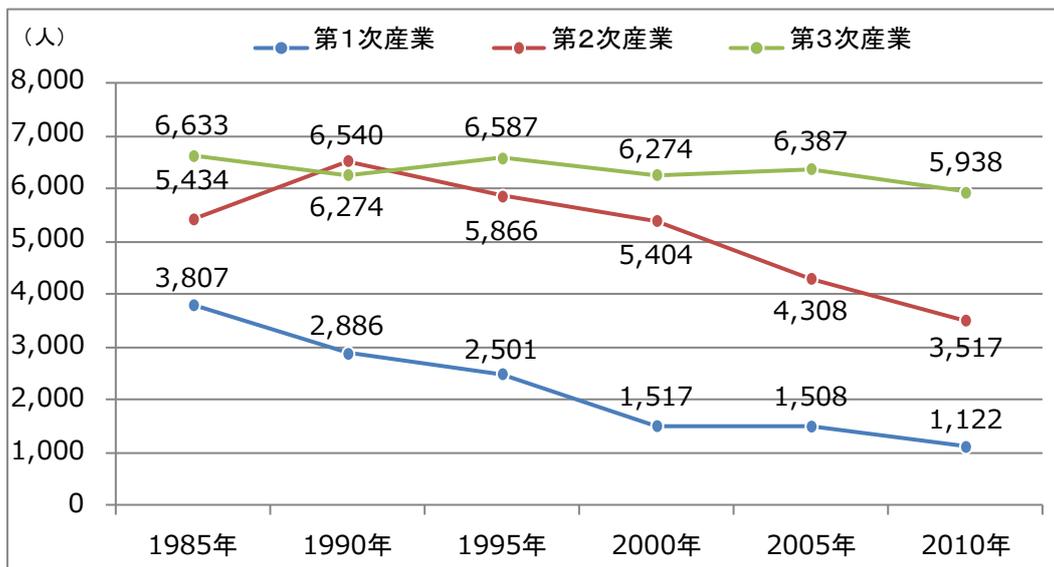
- 志賀町では県、国と比べて第1次産業の割合が高くなっていますが、減少傾向にあります。
- 産業別では「製造業」「建設業」「卸売業・小売業」の従業員数が多くなっています。また、「電気・ガス・熱供給・水道業」の従業員数が他都市よりも比較的多いことが、志賀町の産業特性であると想定されます。

【2010年における産業（3部門）別人口割合の比較】



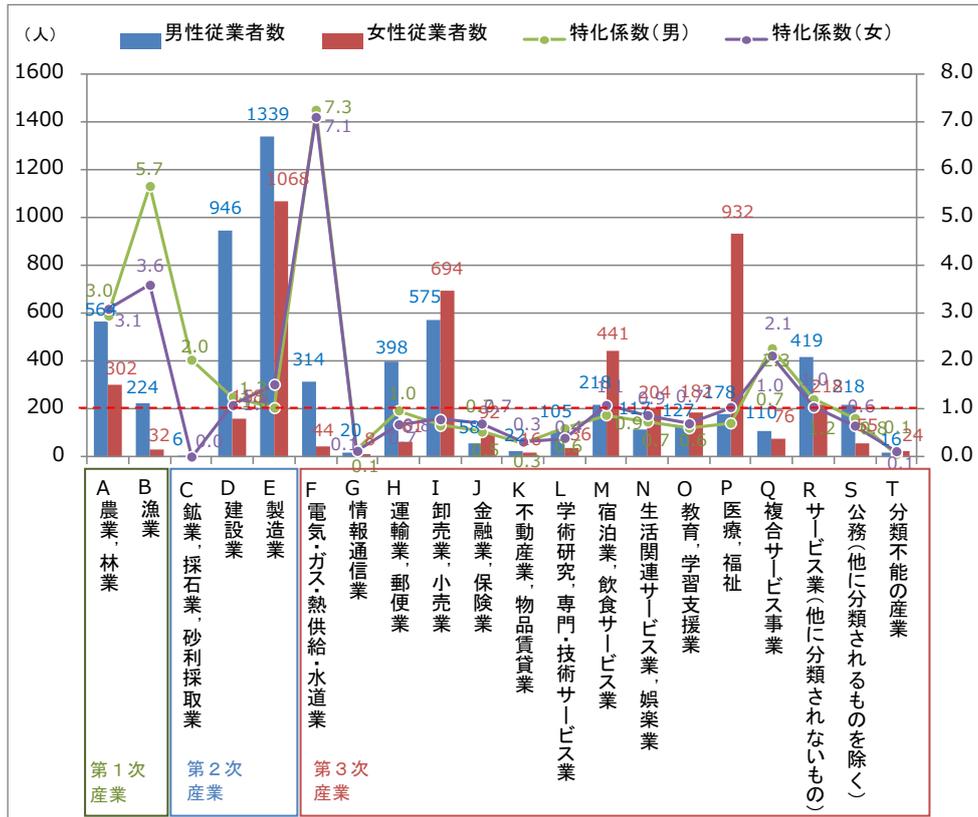
出典：国勢調査

【志賀町における産業（3部門）別人口の推移】



出典：国勢調査

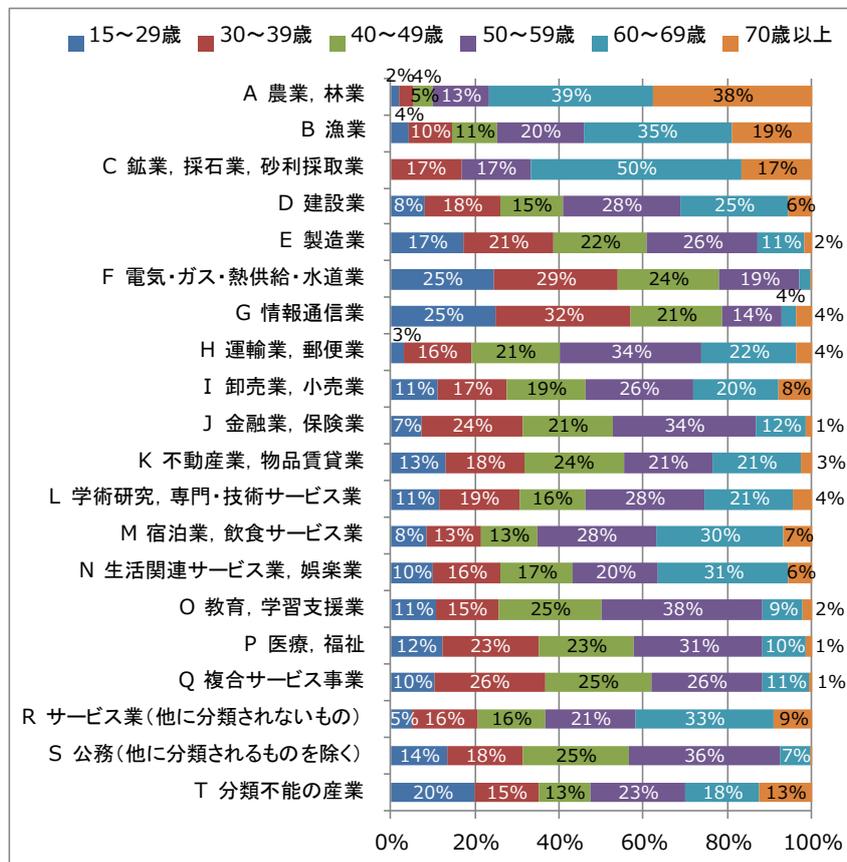
【志賀町在住者の産業（大分類）別人口および特化係数（2010年）】



※特化係数：県の産業割合に対する比であり、1.0を超えると県よりも割合が多いことを意味する。

出典：国勢調査

【志賀町における産業（大分類）別年齢構成（2010年）】

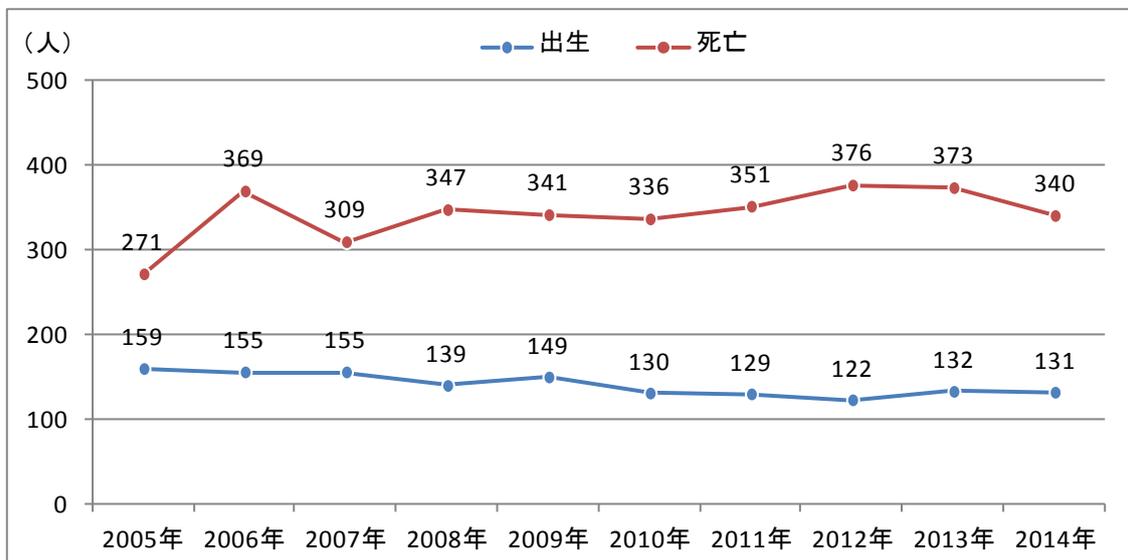


出典：国勢調査

7) 自然動態の推移

●自然動態では、2005 年以降、死亡者数が出生者数を上回り、毎年 200 人ほど死亡超過で推移しています。

【自然動態の推移（住民基本台帳：2005 年～2014 年）】

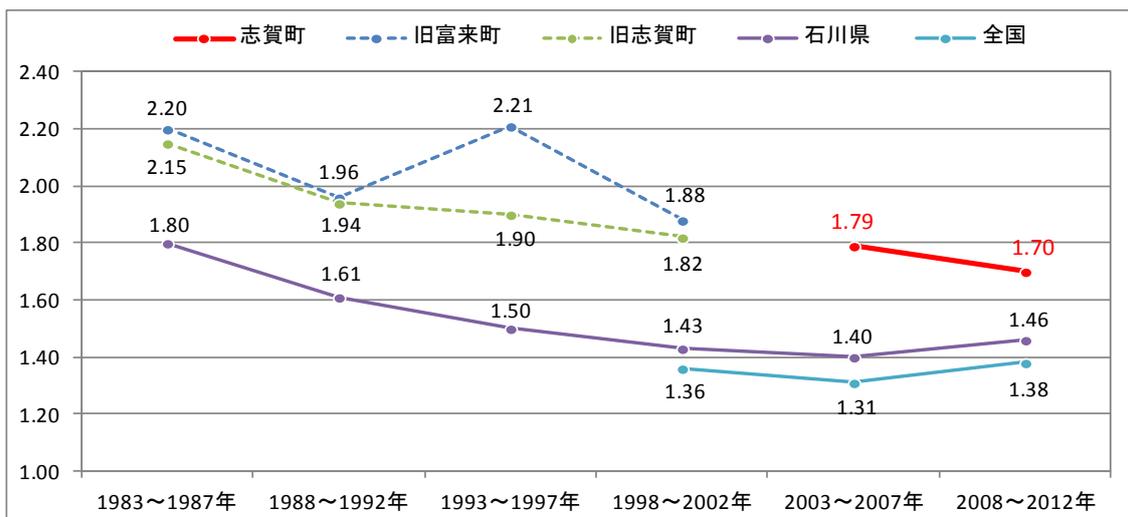


出典：住民基本台帳

8) 合計特殊出生率の推移

●2008～2012 年の志賀町の合計特殊出生率は、全国と比べて約 0.3 ポイント高くなっています。

【合計特殊出生率（人口動態統計特殊報告書：1965 年～2012 年）】



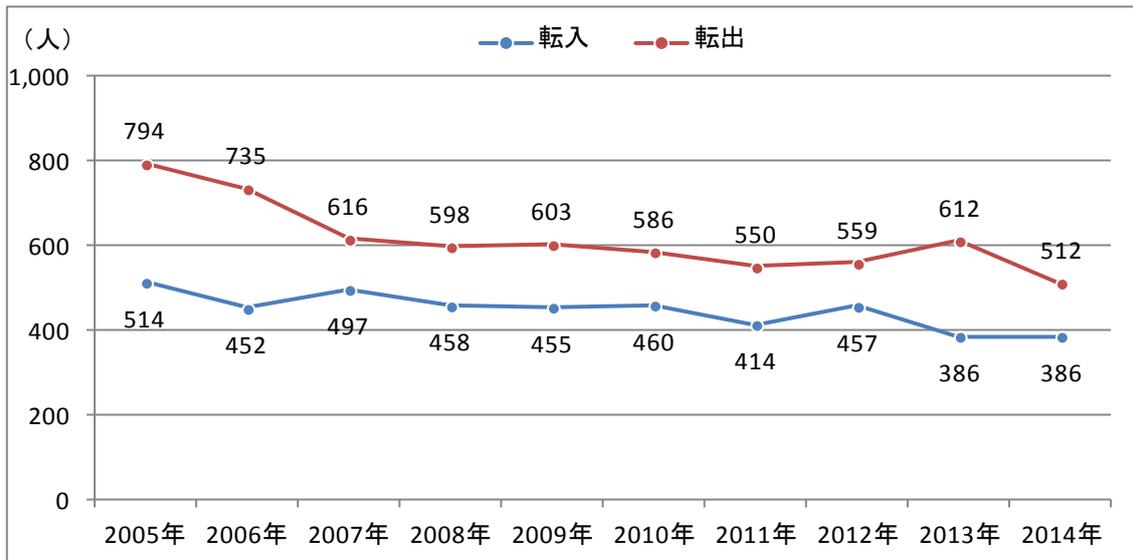
	1983～1987年	1988～1992年	1993～1997年	1998～2002年	2003～2007年	2008～2012年
志賀町					1.79	1.70
旧富来町	2.20	1.96	2.21	1.88		
旧志賀町	2.15	1.94	1.90	1.82		
石川県	1.80	1.61	1.50	1.43	1.40	1.46
全国				1.36	1.31	1.38

出典：人口動態保健所・市区町村別統計

## 9) 社会動態の推移

●社会動態の推移では、毎年100人以上の転出超過となっています。

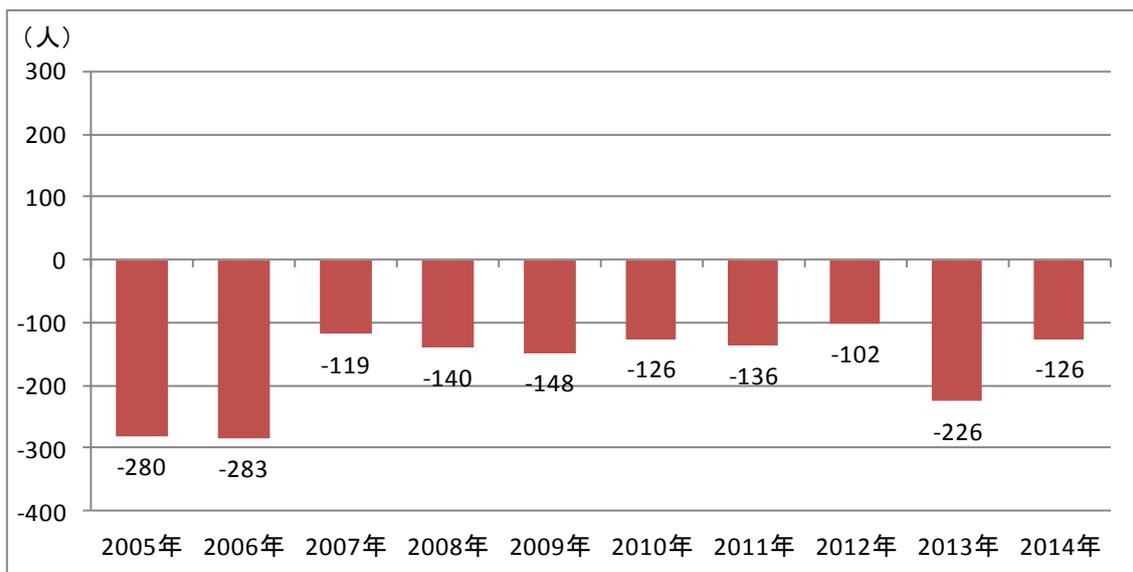
【社会動態の推移（住民基本台帳：2005年～2014年）】



※調査は前年10/1～9/30までの集計

出典：石川県の人口動態（～2006年）、石川県の人口と世帯（2007年～）

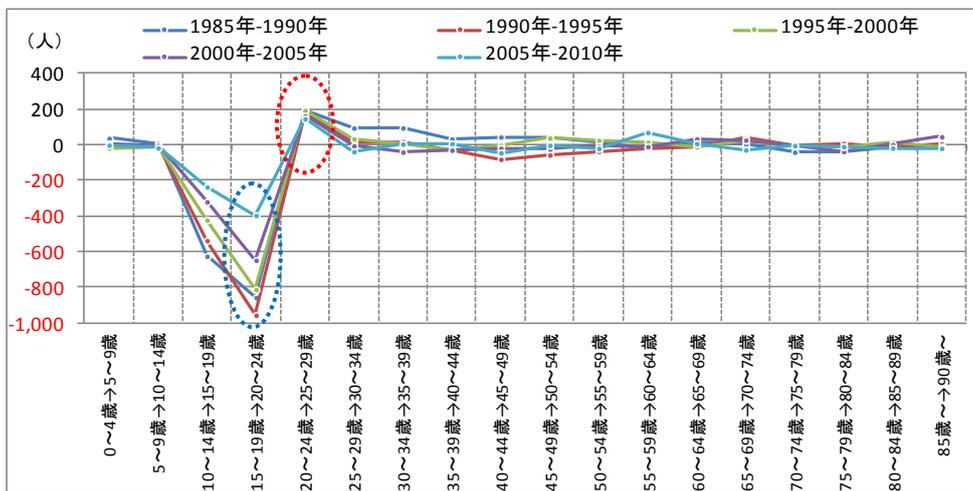
【転入出状況（転入－転出）（住民基本台帳：2005年～2014年）】



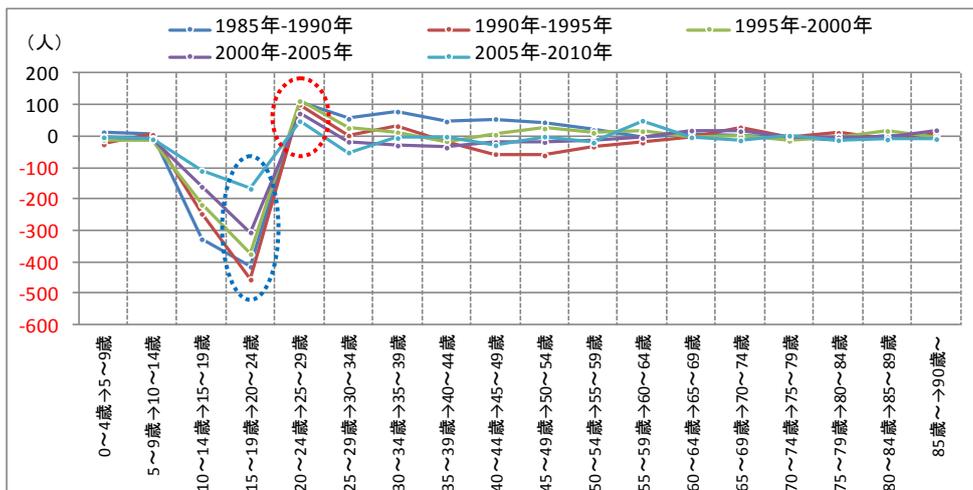
10) 男女別・年齢階級別社会動態の推移

- 志賀町全体では男女ともに「15～19歳」が「20～24歳」になるまでの転出が顕著です。ただし、近年は若干改善傾向にあります。
- 一方、「20～24歳」が「25～29歳」になるまでの転入が若干多くなっています。

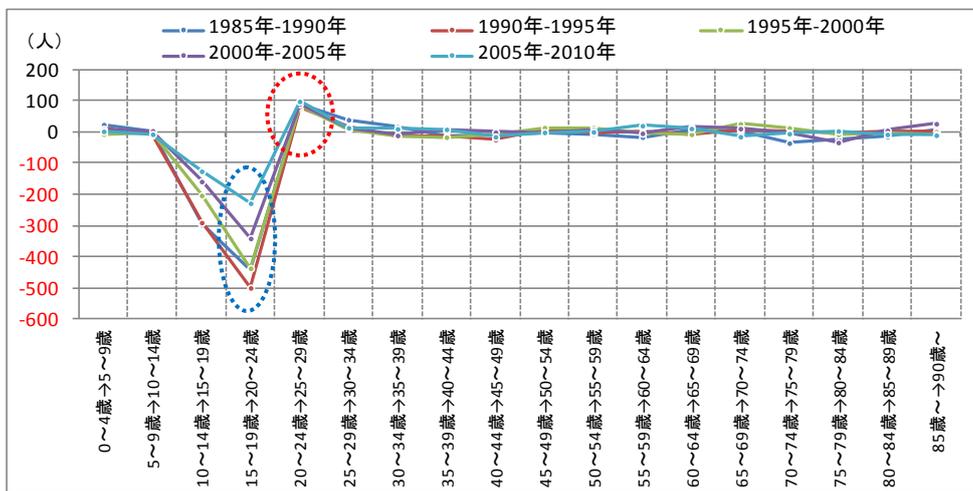
【志賀町全体】



【男性】



【女性】

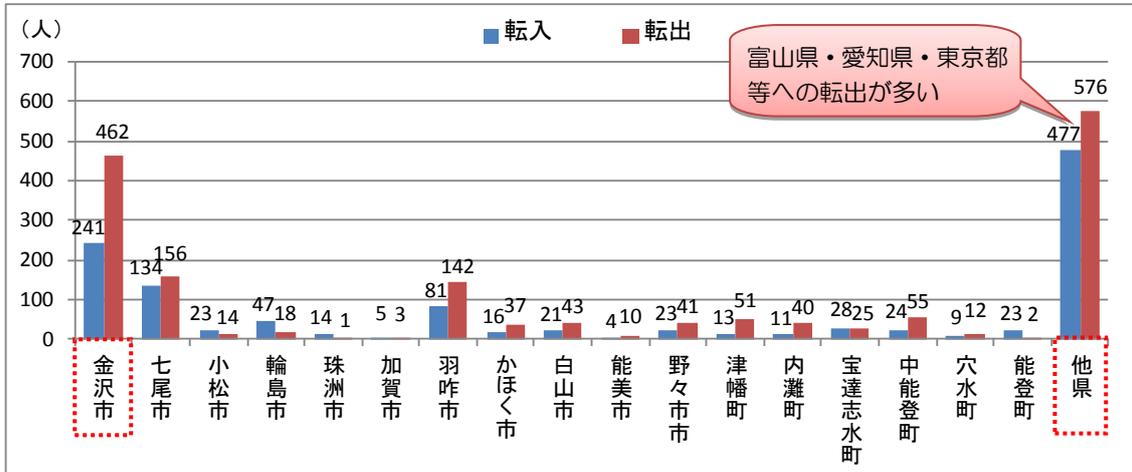


出典：国勢調査を基にした推計値（内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局提供）

### 11) 転入・転出先

●金沢市及び他県への転出が多くなっています。

【市町村別転入・転出の状況（国勢調査：2005年～2010年）】

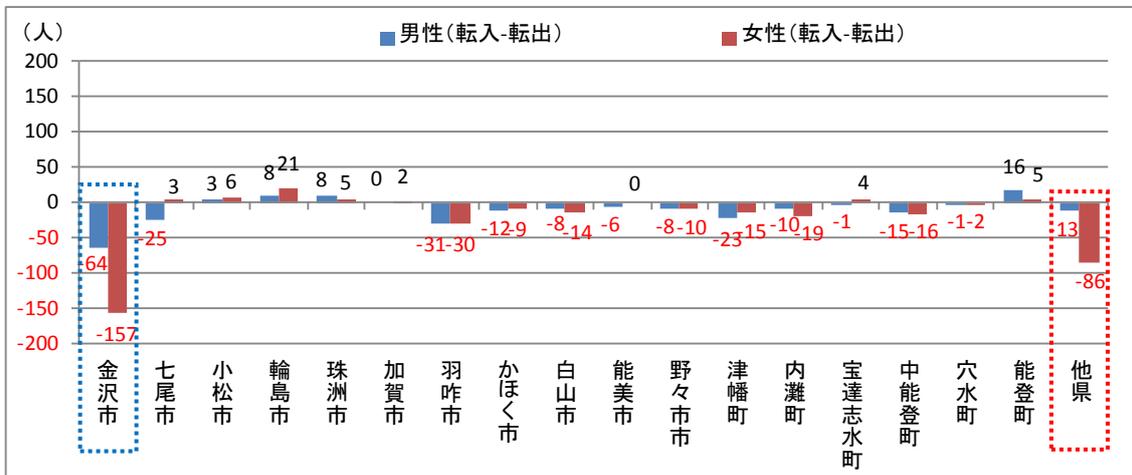


出典：国勢調査

### 12) 男女別転入・転出先

●男性と比べて女性の転出数が多く、金沢市や他県への転出が多くなっています。

【男女別転入出状況（転入－転出）（国勢調査：2005年～2010年）】

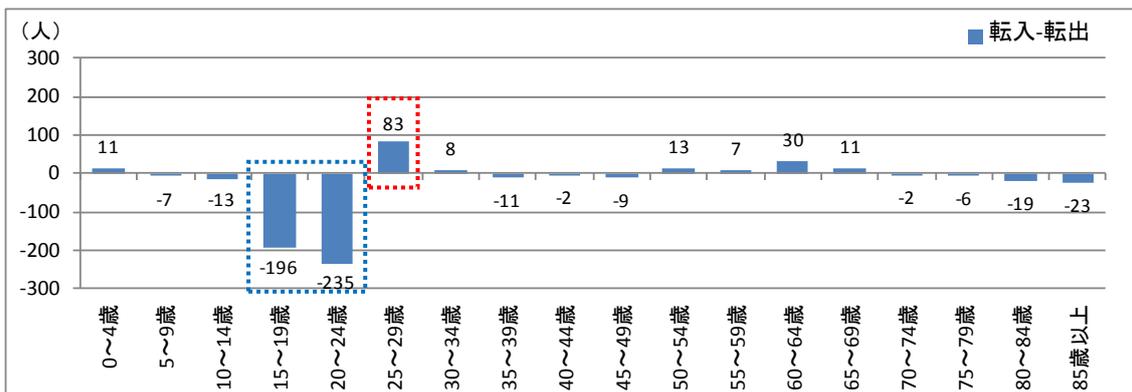
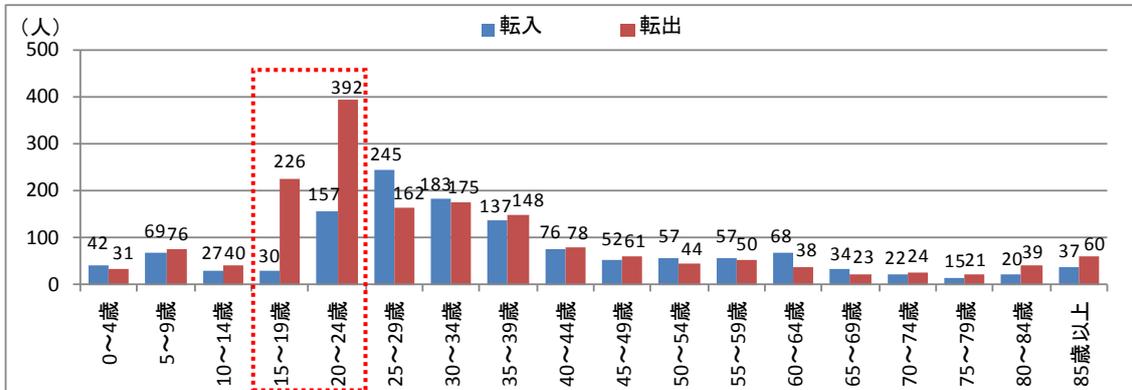


出典：国勢調査

13) 年齢区分別転入・転出の状況

- 「15～24歳」の転出者数が多くなっています。
- 転入者数と転出者数の差から転入では、「25～29歳」が多くなっています。

【年齢区分別転入・転出の状況（国勢調査：2005年→2010年）】

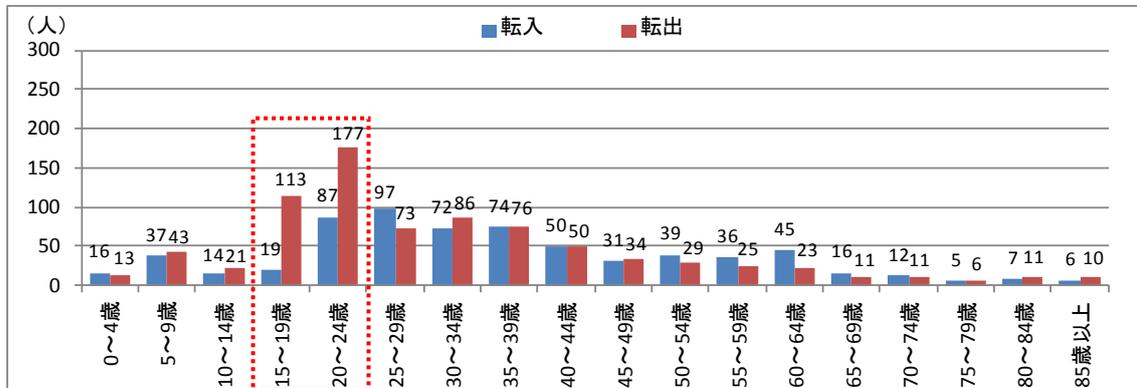


出典：国勢調査

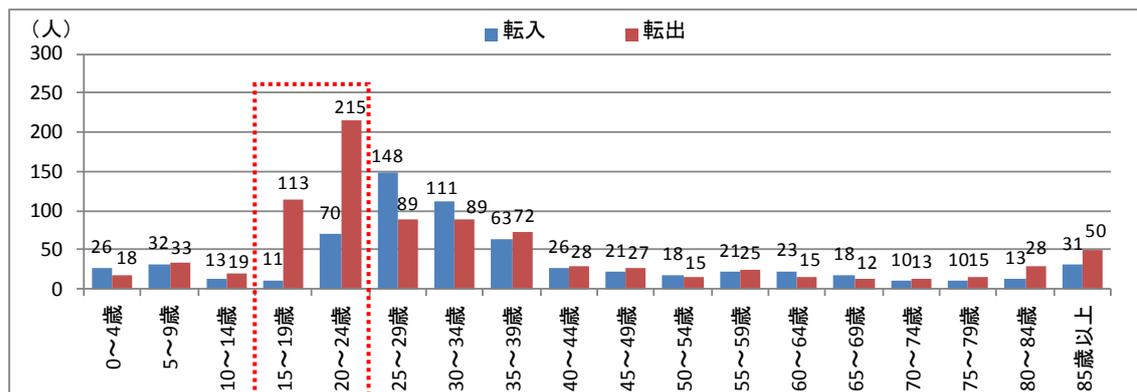
#### 14) 男女別・年齢区分別の転入・転出の状況

●男女ともに15～24歳にかけて転出者数が多く、特に「20～24歳」の転出が顕著になっています。

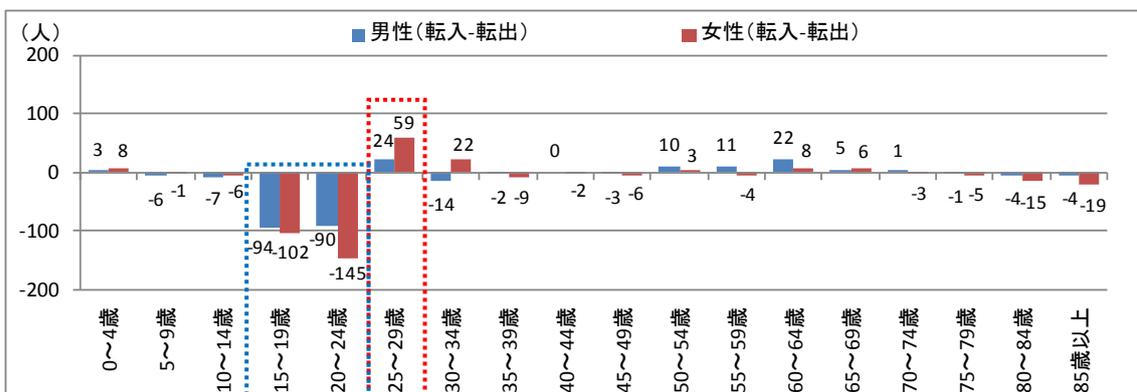
【男性の年齢区分別の転入・転出の状況（国勢調査：2005年→2010年）】



【女性の年齢区分別の転入・転出の状況（国勢調査：2005年→2010年）】



【男女別・年齢区分別の転入・転出の状況（国勢調査：2005年→2010年）】

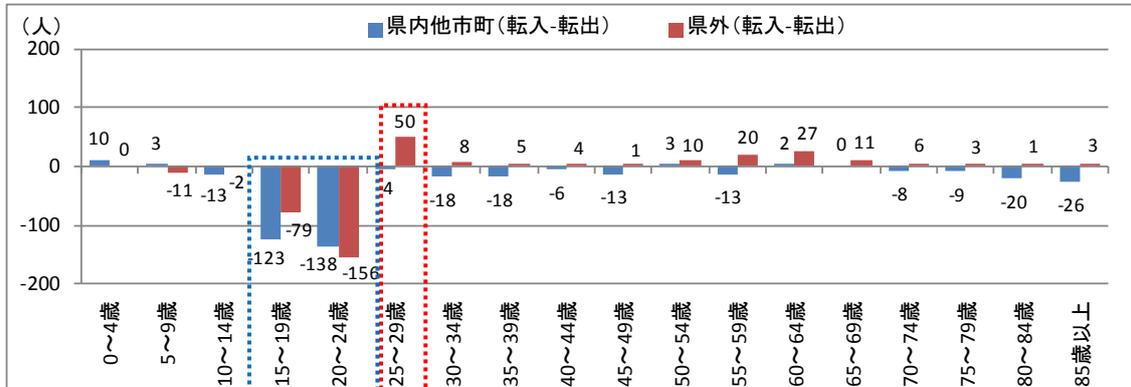


出典：国勢調査

## 15) 県内外別・年齢区分別の転入・転出の状況

- 「15～24歳」の県内各市町・県外への転出が多くなっています。
- 「25～29歳」の県外への転出が多くなっています。

【県内外別・年齢区分別の転入・転出の状況（国勢調査：2005年→2010年）】

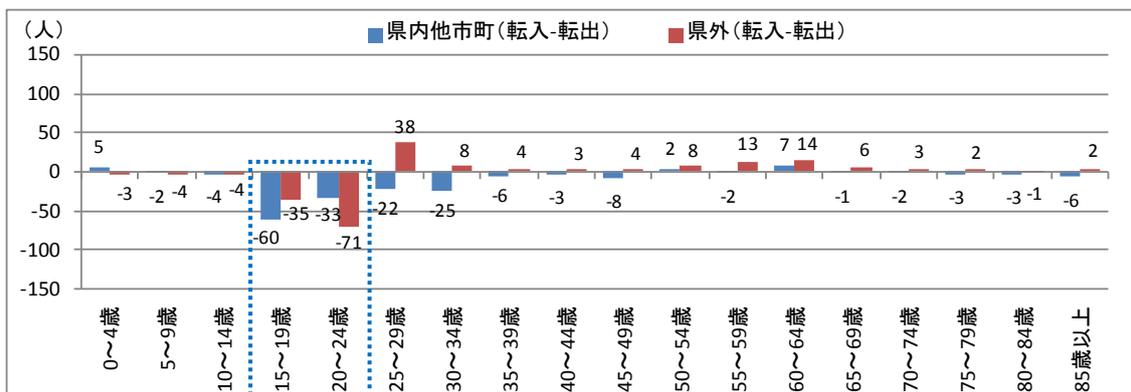


出典：国勢調査

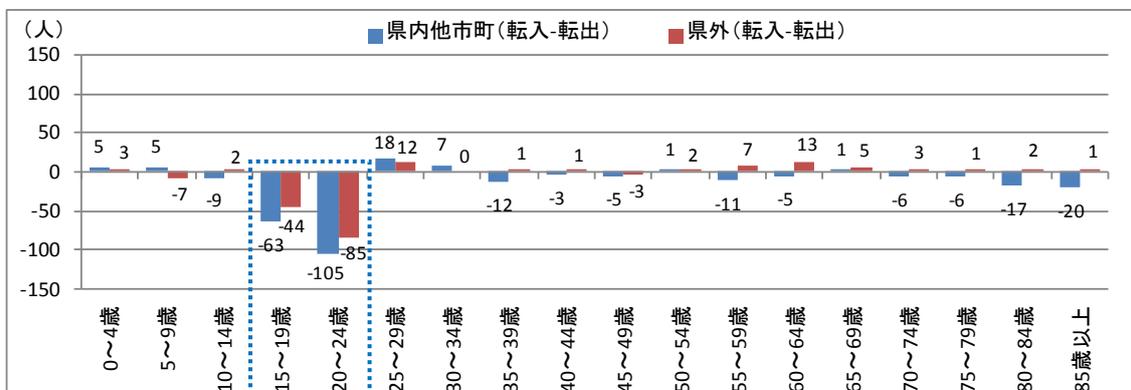
## 16) 男女別・県内外別・年齢区分別の転入・転出の状況

- 男女ともに「15～24歳」の県内各市町・県外への転出が多くなっています。

【男性の県内外別・年齢区分別の転入・転出の状況（国勢調査：2005年→2010年）】



【女性の県内外別・年齢区分別の転入・転出の状況（国勢調査：2005年→2010年）】



出典：国勢調査

## 17) 現況の総括

### 【人口の推移】

- 志賀町の人口は減少を続けており、2005 年からは世帯数・世帯人員も減少が始まっています。
- 志賀町の年齢構成は、石川県や全国と比べ老年人口（65 歳以上）の割合が 10%以上高く、高齢化が既に進行しつつある状態です。

### 【産業の推移】

- 志賀町の産業は、第 3 次産業とほぼ同程度であった第 2 次産業の人口減少が著しい状況にあります。従業員数は「製造業」「建設業」「卸売業・小売業」などが多く、「電気・ガス・熱供給・水道業」や農林水産業などが志賀町の特色ある産業となっています。

### 【自然動態・出生率】

- 年間 200 人ほどの死亡超過で推移しています。
- 合計特殊出生率については 1.70 と 石川県（1.46）、全国（1.38）と比べ比較的高くなっています。

### 【転入・転出の推移】

- 転入・転出者数は、年間 100 人超の転出超過となっています。
- 「15～19 歳」が「20～24 歳」となるまでの転出が顕著です。「20～24 歳」が「25～29 歳」となるまでに若干転入しているものの、それまでに転出した数と比べると多くはありません。
- 転出先としては、金沢市や他県への転出がみられます。

### 【まとめ】

- 出生率は比較的高いものの、自然増減、社会増減ともに大きくマイナスとなっています。このため、移住定住の促進や若者層をはじめとした転出に対する歯止めが急務であります。

### 3 志賀町の将来人口

#### 1) 推計パターンの考え方

将来人口の推計パターンとして、以下の3種類を示します。

##### (1) パターン1 (社人研準拠)

全国の移動率が、今後一定程度縮小すると仮定した推計 (社人研推計準拠)。

出生に関する仮定	原則として、平成 22(2010)年の全国の子ども女性比 (15~49歳女性人口に対する 0~4歳人口の比) と各市町村の子ども女性比との比をとり、その比が平成 27(2015)年以降 52(2040)年まで一定として市町村ごとに仮定。
死亡に関する仮定	原則として、55~59歳→60~64歳以下では、全国と都道府県の平成 17(2005)年→22(2010)年の生残率の比から算出される生残率を都道府県内市町村に対して一律に適用。 60~64歳→65~69歳以上では、上述に加えて、都道府県と市町村の平成 12(2000)年→17(2005)年の生残率の比から算出される生残率を市町村別に適用。
移動に関する仮定	原則として、平成 17(2005)~22(2010)年の国勢調査 (実績) に基づいて算出された純移動率が、平成 27(2015)~32(2020)年までに定率で 0.5 倍に縮小し、その後はその値を平成 47(2035)~52(2040)年まで一定と仮定。

##### (2) パターン2 (日本創生会議準拠)

全国の総移動数が、平成 22(2010)~27(2015)年の推計値と概ね同水準でそれ以降も推移すると仮定した推計 (日本創成会議推計準拠)。

出生に関する仮定	パターン1と同様。
死亡に関する仮定	パターン1と同様。
移動に関する仮定	全国の移動総数が、社人研の平成 22(2010)~27(2015)年の推計値から縮小せずに、平成 47(2035)年~平成 52(2040)年まで概ね同水準で推移すると仮定。(社人研推計に比べて純移動率 (の絶対値) が大きな値となる)

##### (3) パターン3 (国のまち・ひと・しごと創生長期ビジョン)

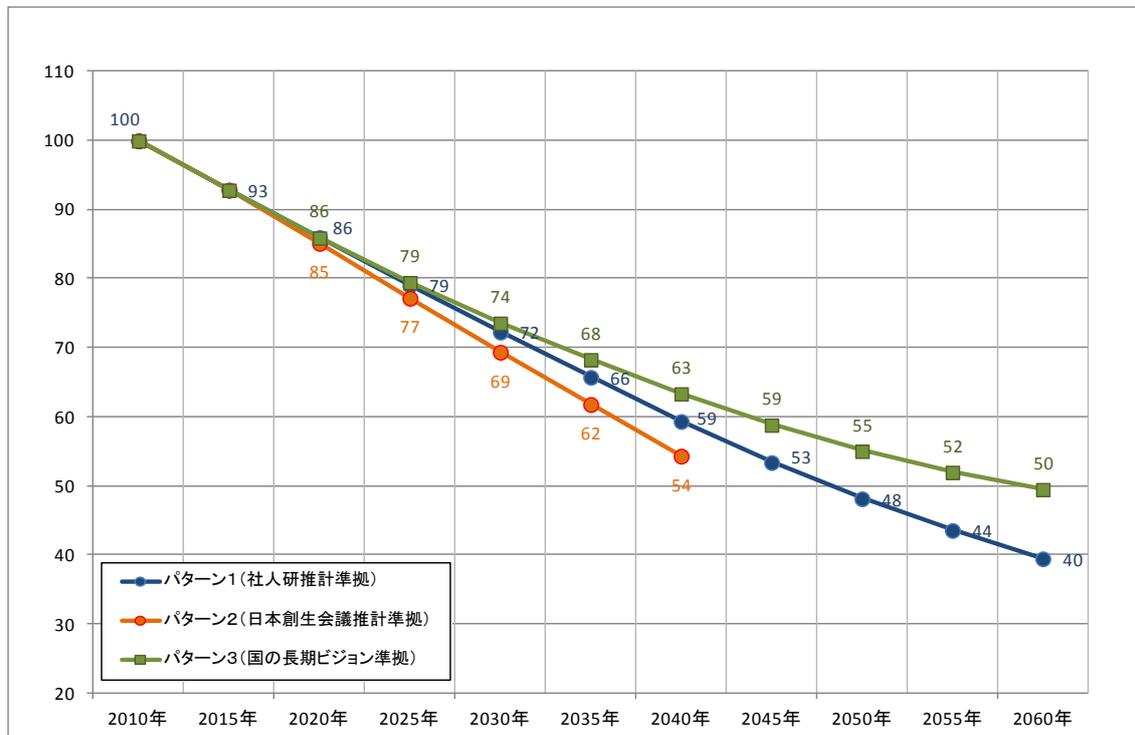
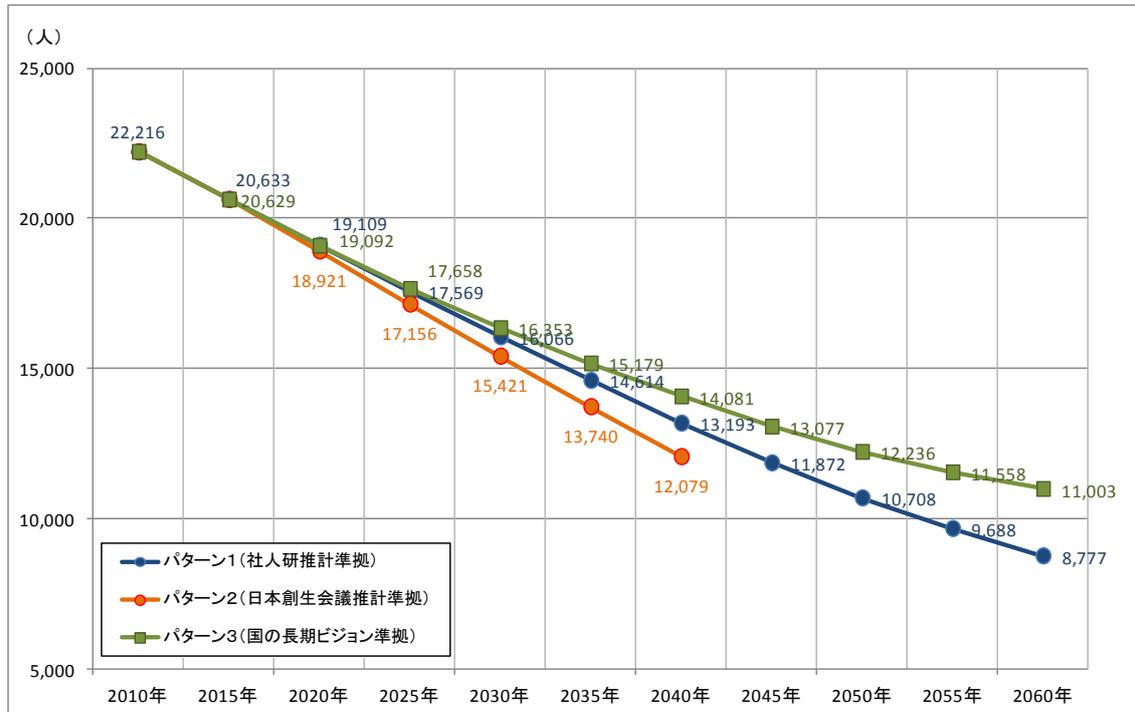
合計特殊出生率が向上し、かつ転入・転出が均衡すると仮定した推計 (国のまち・ひと・しごと創生長期ビジョンに準拠)。

出生に関する仮定	合計特殊出生率が 2030年 1.8、2040年に 2.07 を達成した場合。
死亡に関する仮定	パターン1と同様。
移動に関する仮定	2040年に移動均衡となった場合。

## 2) 志賀町の人口推計 (2060年まで)

### (1) 将来人口

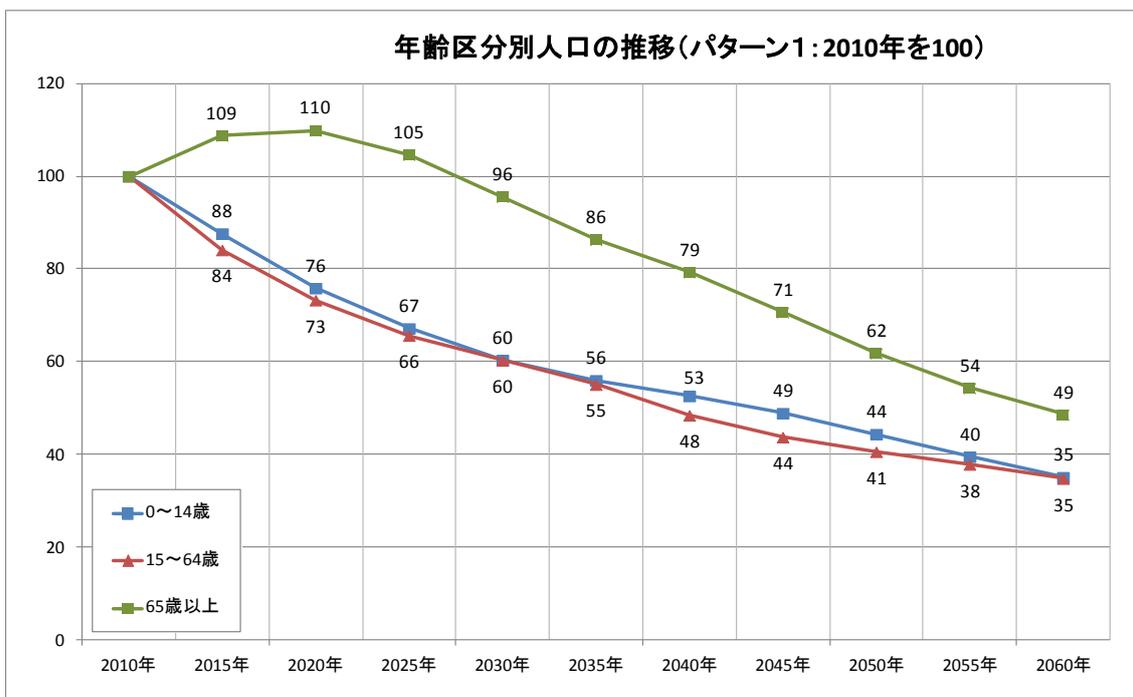
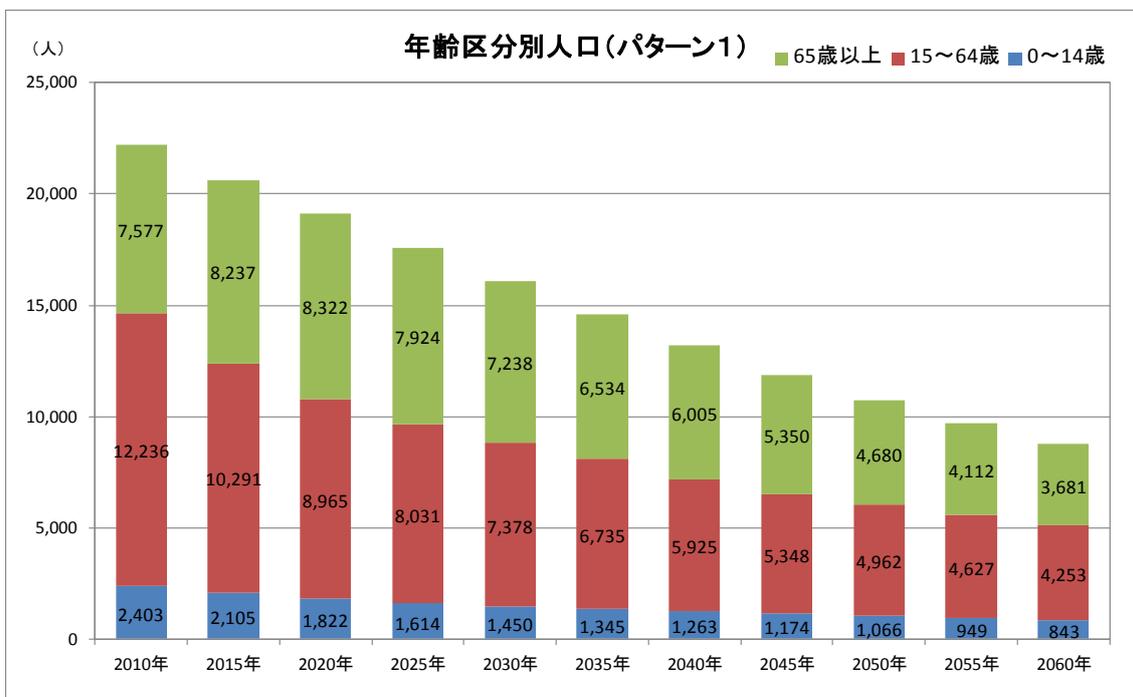
- どちらの推計においても人口減少は進行します。
- パターン1 (社人研推計) では、2060年には13,439人の減少 (約6割の減少) となることが予測されています。



※パターン2については、公表値は2040年まで

(2) 年齢別人口 (パターン1: 社人研推計)

- 0～14歳、15～64歳人口は減少を続け、2040年には約半分に、2060年には1/3程度にまで減少することが予測されています。
- 2020年までは増加する65歳以上人口も、2025年から減少に転じることが予測されています。

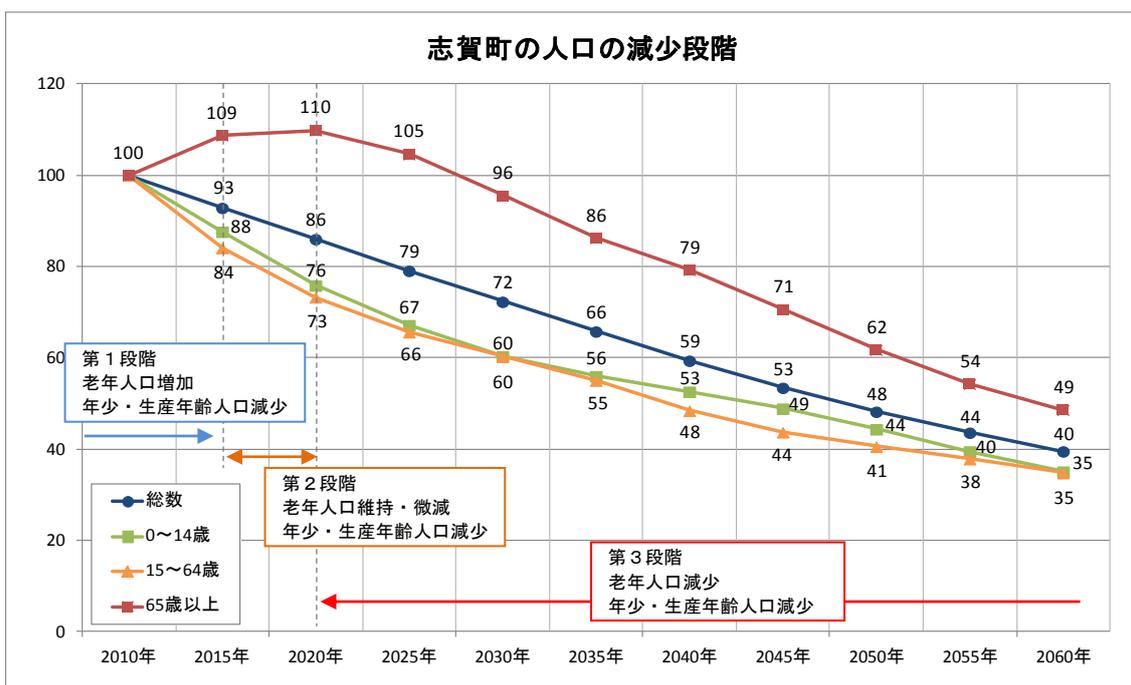


### (3) パターン1における人口減少段階の分析

●2015年まで「第1段階」が続き、その後2020年まで老年人口は微増・横ばいの「第2段階」となります。その後、本格的な老年人口が減少する「第3段階」となることが想定されます。

パターン1の老年人口(65歳以上)の推移は、2020年をピークに減少をはじめ、2060年には半分にまで減少することが想定されます。

全ての年代において減少が続く「第3段階」まで目前に迫っており、今後の少子高齢化対策が急務であることがうかがえます。

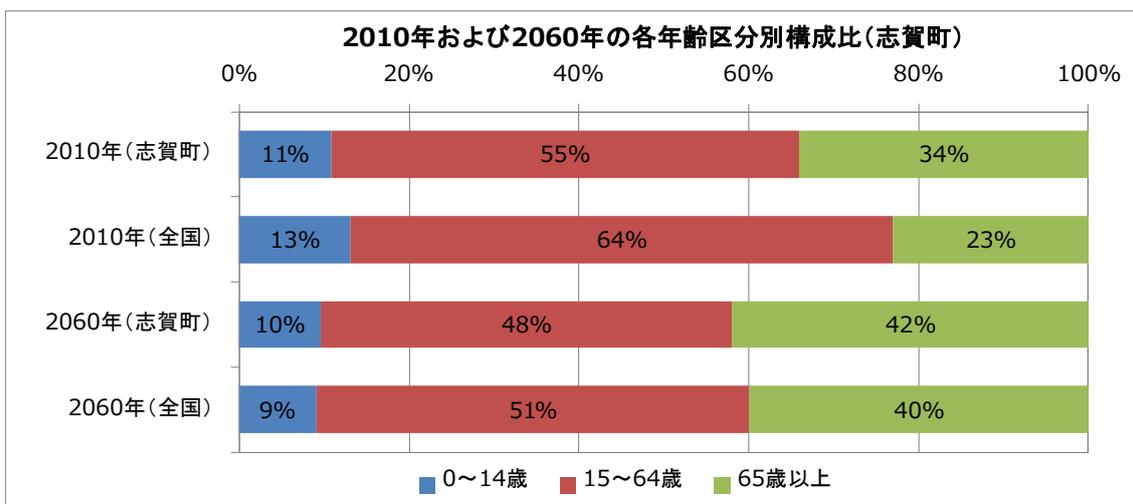
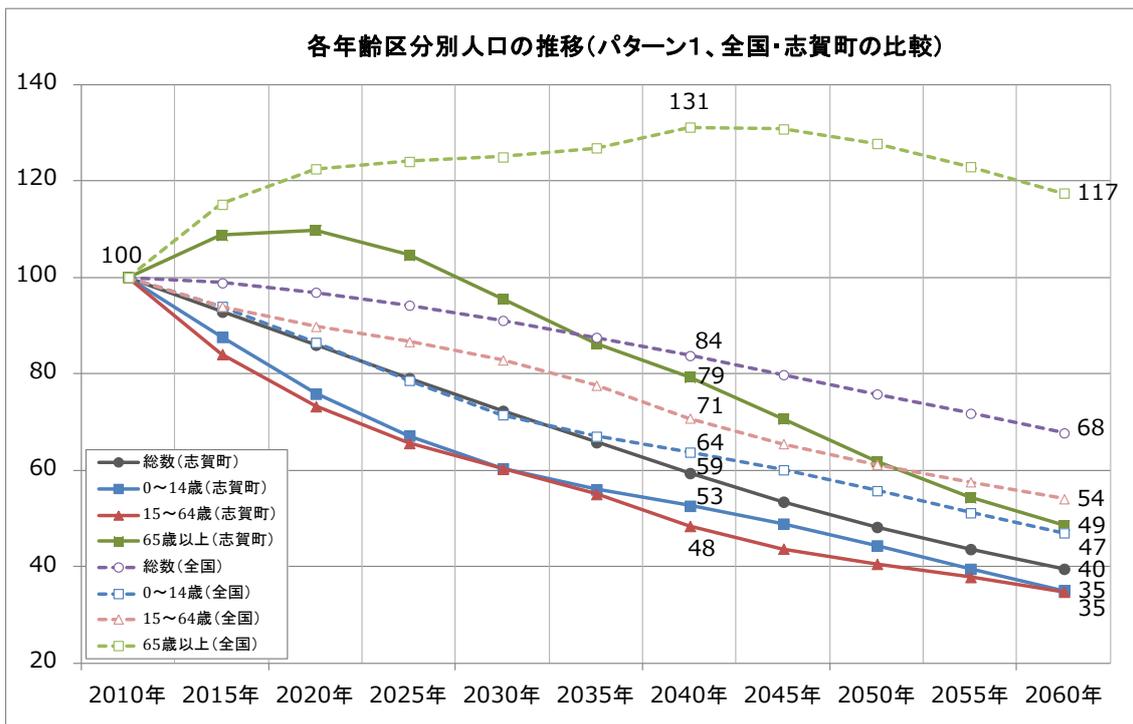


(4) パターン1における全国との比較

●全国のお都市と比べ、全ての年代で減少が急激に進むことが想定されます。

2010年を100とした場合の各年齢区分の推移や、2060年の人口割合などを全国と比較した場合、志賀町では年少人口（0～14歳）、生産人口（15～64歳）、老年人口（65歳以上）全てで減少が急激に進むことが想定されます。

特に全国では老年人口は2010年の人口を割り込むことはなく推移しますが、志賀町では全国動向とは異なり、大きく割り込むことが想定されます。



※全国推計は、国立社会保障・人口問題研究所の推計値（出生中位・死亡中位）

### 3) 将来推計のまとめ

#### 【人口の推移】

- 志賀町の人口は減少を続けており、今後も継続的に人口減少は続く予測されています。
- 2040年においては、パターン1（社人研推計）で9,025人・41%の減少、パターン2（民間推計）で10,137人・46%の減少が予測されています。
- 2060年においては、パターン1（社人研推計）で13,439人・60%の減少が予測されています。

#### 【年齢構成】

- パターン1（社人研推計）では、0～14歳・15～64歳の人口は減少を続け、2040年でほぼ半減、2060年では1/3にまで減少すると予測されます。

#### 【まとめ】

- 志賀町においては、今後の急激な人口減少・高齢化が懸念されます。
- 今後においては、人口減少が少しでも緩やかとなるよう、移住定住の促進及び転出抑制並びに少子高齢化対策などを進めていく必要があります。

## 4 志賀町が目指す将来人口

### 1) 独自推計パターンの考え方

●施策により、出生率の上昇（+0.20）および社会動態の改善（年間25人程度の改善）を見込み、将来人口を算出します。

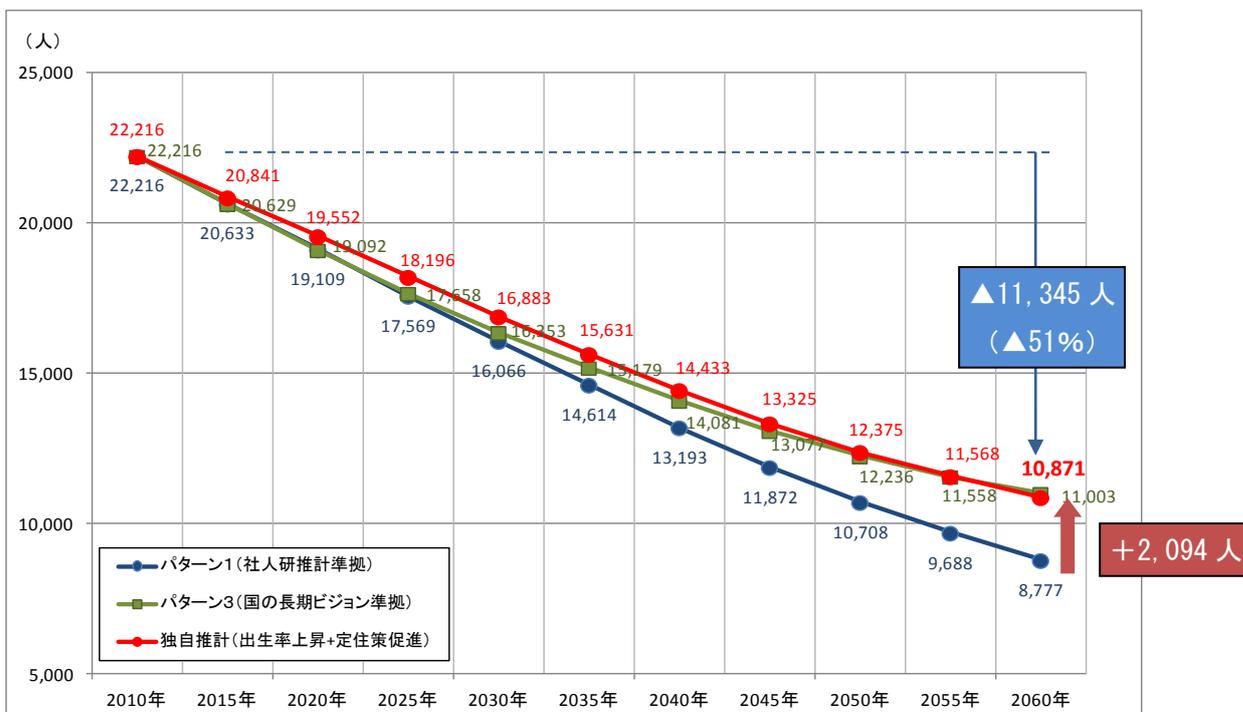
志賀町の将来推計に際しては、国の施策等により出生率の上昇が図られ、かつ転入促進策により現状よりも社会移動が改善すると想定し、将来人口を算出するものとします。想定する条件は、以下の通りです。

出生に関する仮定	2040年に合計特殊出生率が1.90（2010年時点から+0.20）にまで上昇し、以降2060年までその水準を維持する。
死亡に関する仮定	社人研の考え方に準拠。
移動に関する仮定	転入・転出の社会動態に関して、2015年から10年間、毎年25人程度（5年間で125人）の改善が継続的に図られ、その後（2025年以降）も、その半分程度の改善が継続した場合。

### 2) 志賀町の将来人口（独自推計）

●人口は今後も減少が続くと想定されますが、出生率の向上や、町内への転入促進により、2060年の目標人口を約**11,000人**と設定します（社人研と比べ2,100人程度の増加を想定）。

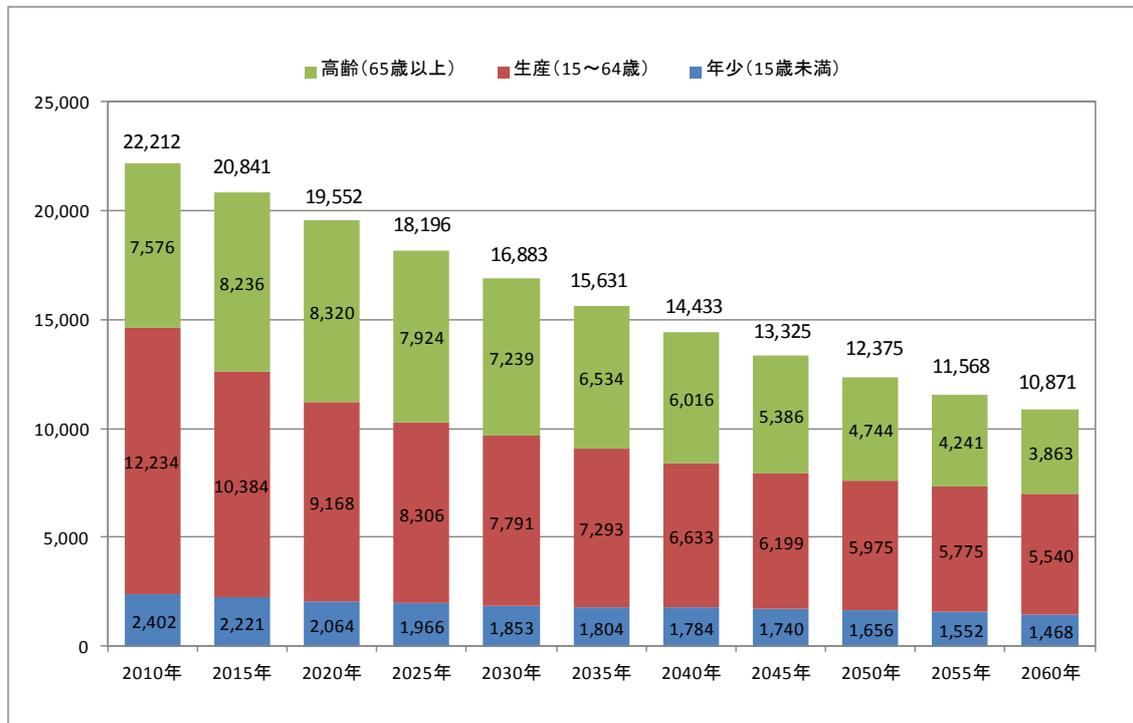
【独自推計による志賀町の将来人口（25人/年を10年間、その後は半減）】



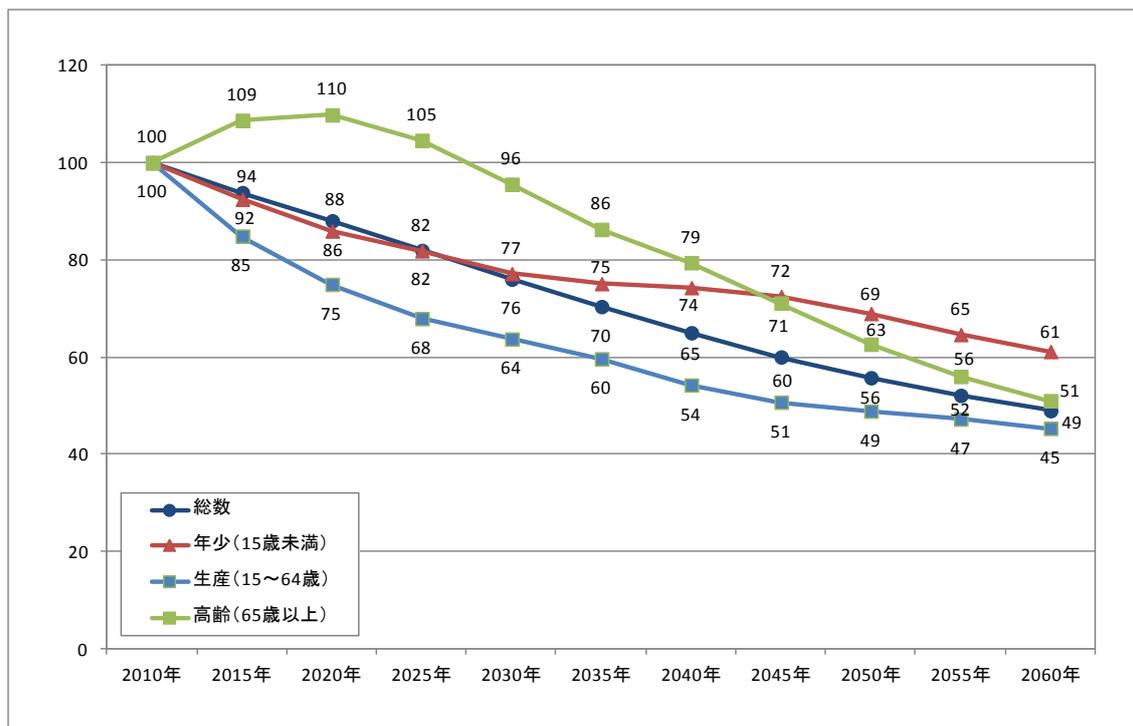
### 3) 年齢別の人口構成

- 高齢（65歳以上）は2020年以降に減少に転じます。
- 年少（15歳未満）は2030年以降、若干の下げ止まりが想定されます。
- 生産（15～64歳）は2045年以降に減少が緩やかとなることが想定されます。

【年齢区別の人口構成】



【年齢区別の人口構成（2010年を100）】



## 参考

## アンケート調査結果

実施日：平成27年6月25日（木）～平成27年7月21日（火）

方 法：郵送による配布回収

対象者：志賀町在住の18歳以上の男女2,500名を無作為に抽出

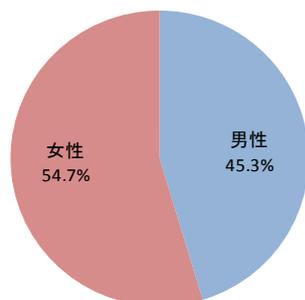
配布数：2,500票

回収数：1,253票（回収率：50.1%）

## 1) 回答者自身のことについて

## 問1 あなたの性別は？（1つだけ○）

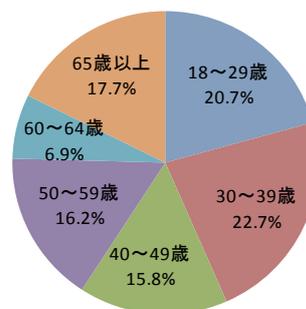
○「男性」が45.3%、「女性」が54.7%となっています。



(N=1218)

## 問2 あなたの年齢は？（1つだけ○）

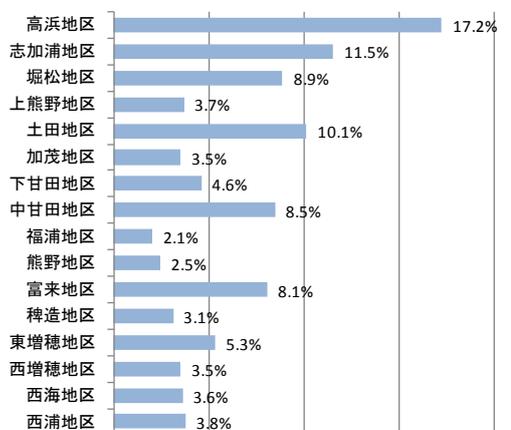
○「30～39歳」が最も多く22.7%を占め、次いで「18～29歳」が20.7%、「65歳以上」が17.7%となっています。



(N=1225)

## 問3 あなたのお住まいの地区は？（1つだけ○）

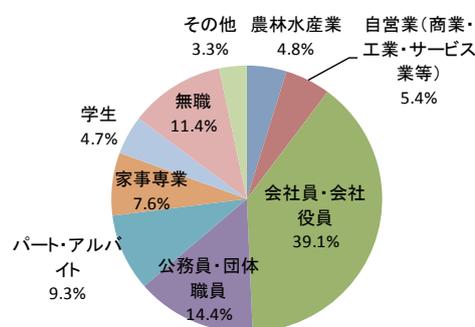
○「高浜地区」が最も多く17.2%を占め、次いで「志加浦地区」が11.5%、「土田地区」が10.1%となっています。



(N=1216)

## 問4 あなたの職業は？（主なものを1つだけ○）

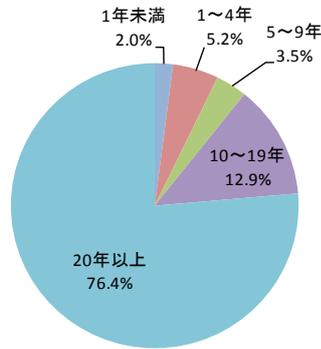
○「会社員・会社役員」が最も多く39.1%を占め、次いで「公務員・団体職員」が14.4%、「パート・アルバイト」が9.3%となっています。



(N=1215)

問5 あなたが志賀町に住んでいる通算年数は？ ※通算の居住年数でご回答ください（1つだけ○）

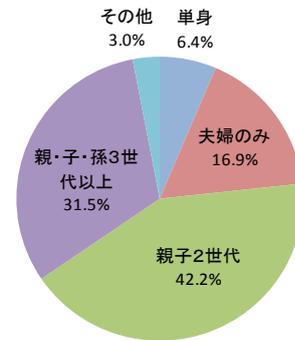
○「20年以上」が最も多く 76.4%を占め、次いで「10～19年」が 12.9%、「1～4年」が 5.2%となっています。



(N=1223)

問6 現在の世帯の状況は？（1つだけ○）

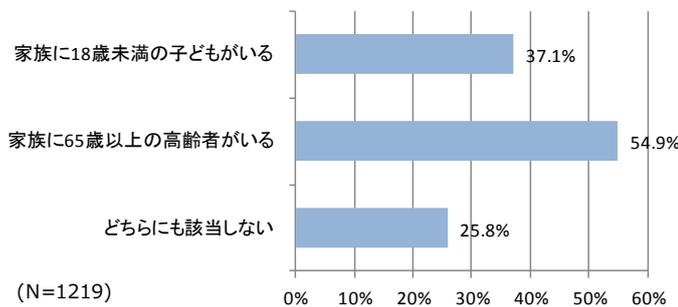
○「親子2世代」が最も多く 42.2%を占め、次いで「親・子・孫3世代以上」が 31.5%、「夫婦のみ」が 16.9%となっています。



(N=1219)

問7 現在の家族構成は？ ※当てはまるものすべてに○

○「家族に 65 歳以上の高齢者がいる」が 54.9%、「家族に 18 歳未満の子どもがいる」が 37.1%となっています。

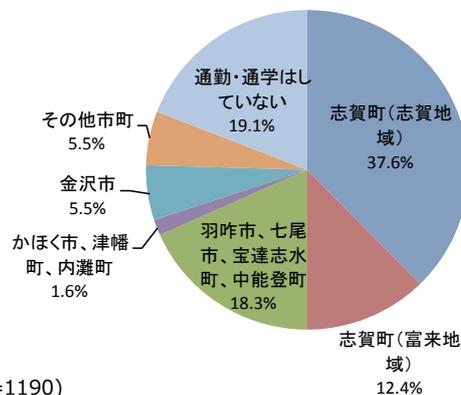


(N=1219)

問8 あなたの通勤・通学先は？（1つだけ○）

○「志賀町（志賀地域）」が最も多く 37.6%を占め、次いで「通勤・通学はしていない」が 19.1%、「羽咋市、七尾市、宝達志水町、中能登町」が 18.3%となっています。

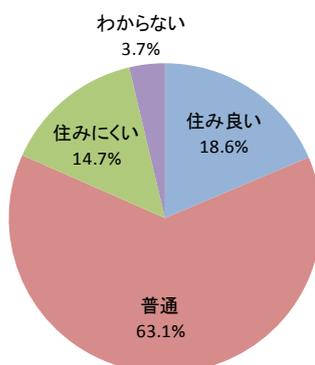
○「志賀町（志賀地域）」、「志賀町（富来地域）」合わせて 50.0%となっています。



(N=1190)

### 問9 志賀町は、住み良いと思いますか？（1つだけ○）

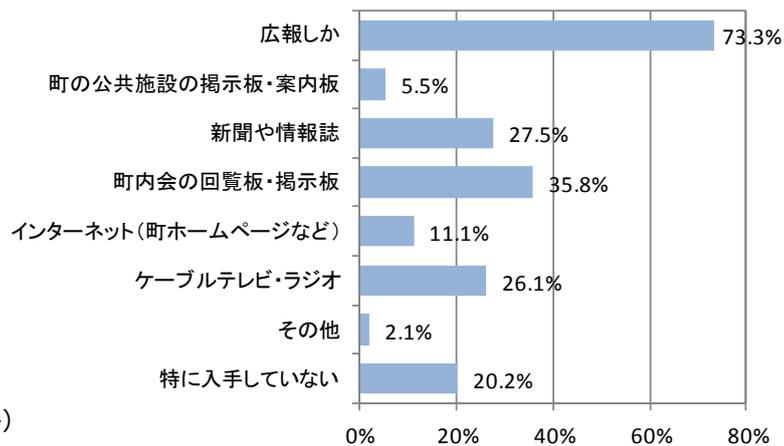
○「普通」が最も多く 63.1%を占め、次いで「住み良い」が 18.6%、「住みにくい」が 14.7%となっています。



(N=1221)

### 問10 普段から、町の情報を入手していますか？また、主な入手方法は何ですか？（3つまで○）

○「広報しか」が最も多く 73.3%を占め、次いで「町内会の回覧板・掲示板」が 35.8%、「新聞や情報誌」が 27.5%となっています。



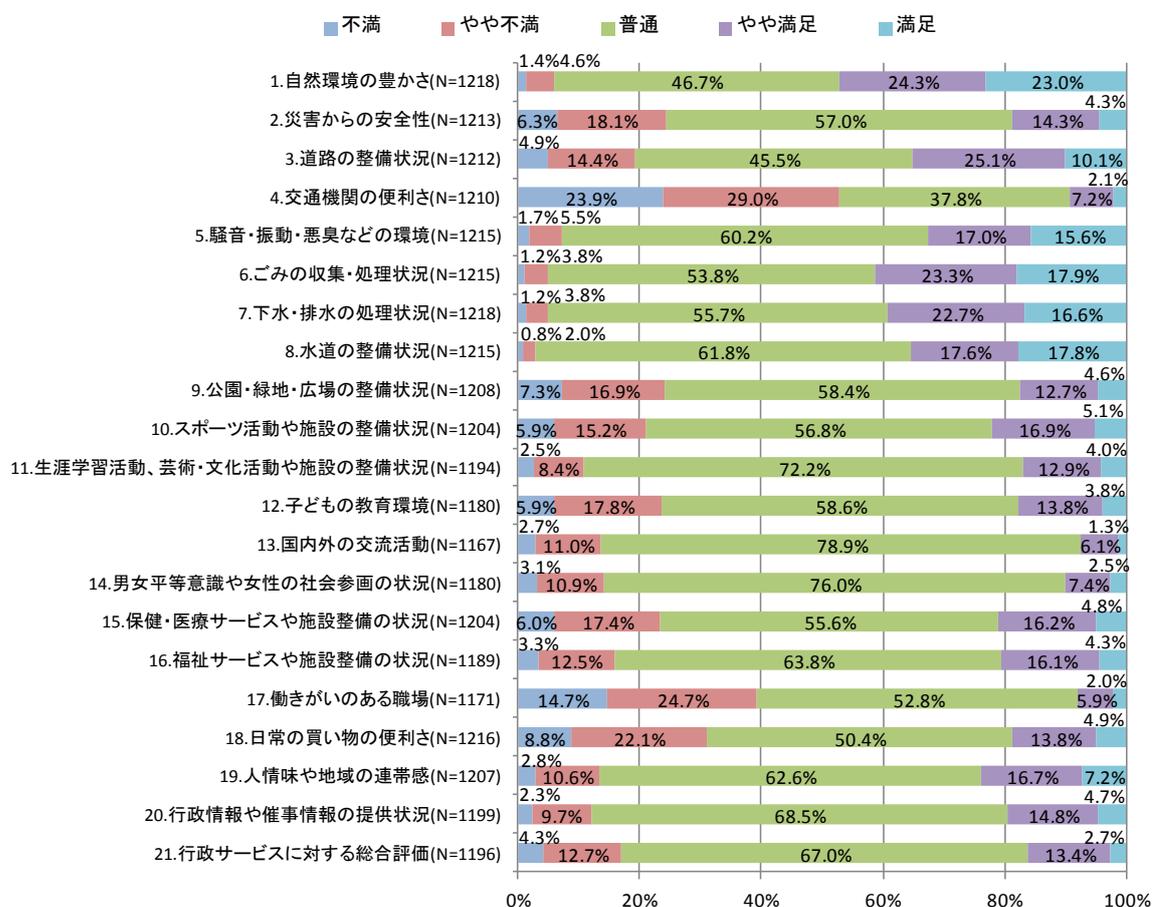
(N=1224)

## 2) 志賀町の現状評価

問 11 あなたは、志賀町の現状をどのように感じていますか？（それぞれ1つだけ○）  
 （「①現在の評価」と「②10年前（概ね合併前）と比べて」の両方についてお答えください。）

### ①現在の評価

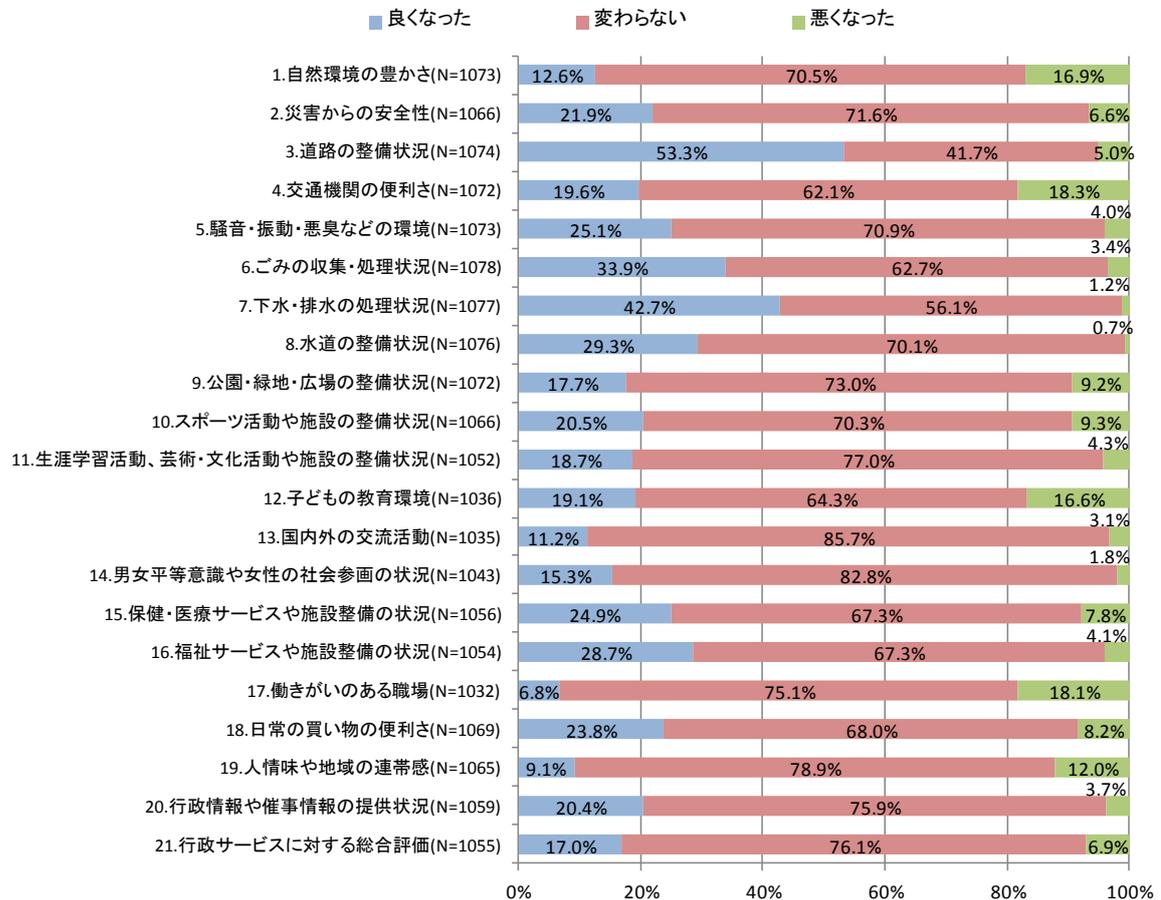
- “1.自然環境の豊かさ”が「満足」、「やや満足」合わせた割合が最も多く47.3%を占め、次いで“6.ごみの収集・処理状況”が41.2%、“7.下水・排水の処理状況”が39.3%となっています。
- 一方“4.交通機関の便利さ”が「不満」、「やや不満」合わせた割合が最も多く52.9%を占め、次いで“17.働きがいのある職場”が39.4%、“18.日常の買い物の便利さ”が30.9%となっています。



## ②10年前（概ね合併前）と比べて

○「良くなった」が最も高い項目は“3.道路の整備状況”で53.3%を占め、次いで“7.下水・排水の処理状況”が42.7%、“6.ごみの収集・処理状況”が33.9%となっています。

○一方「悪くなった」が最も高い項目は“4.交通機関の便利さ”で18.3%を占め、次いで“17.働きがいのある職場”が18.1%、“1.自然環境の豊かさ”が16.9%となっています。

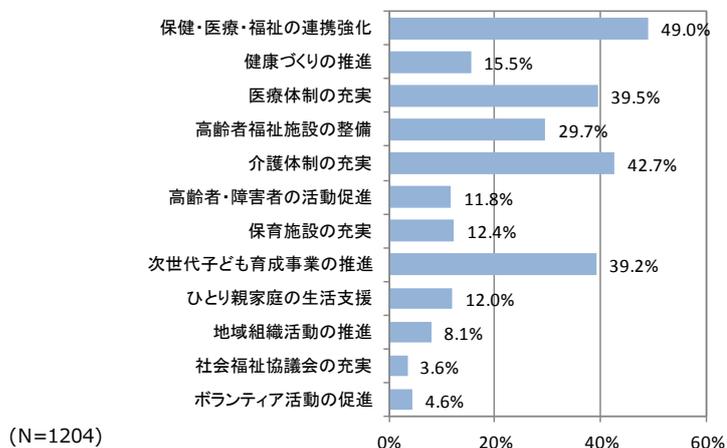


### 3) 今後の施策のあり方について

問 12 「第2次志賀町総合計画」の策定を進めていく上で、何を重視すべきと思いますか？

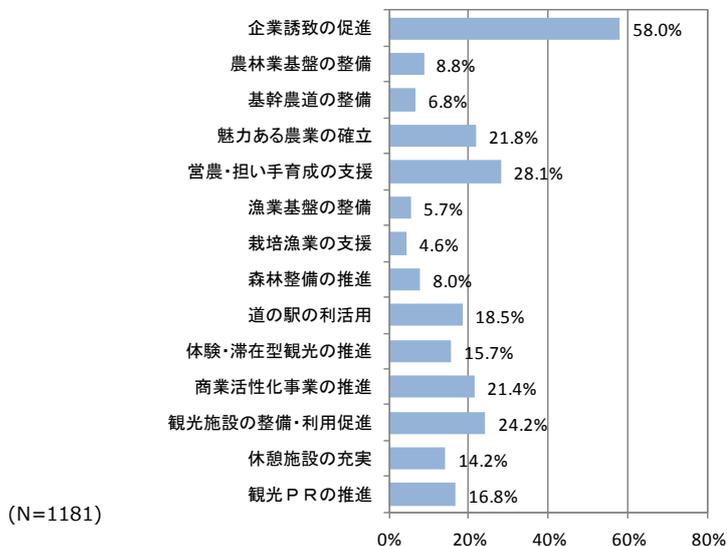
#### ①健康・福祉

○「保健・医療・福祉の連携強化」が最も多く 49.0%を占め、次いで「介護体制の充実」が 42.7%、「医療体制の充実」が 39.5%となっています。



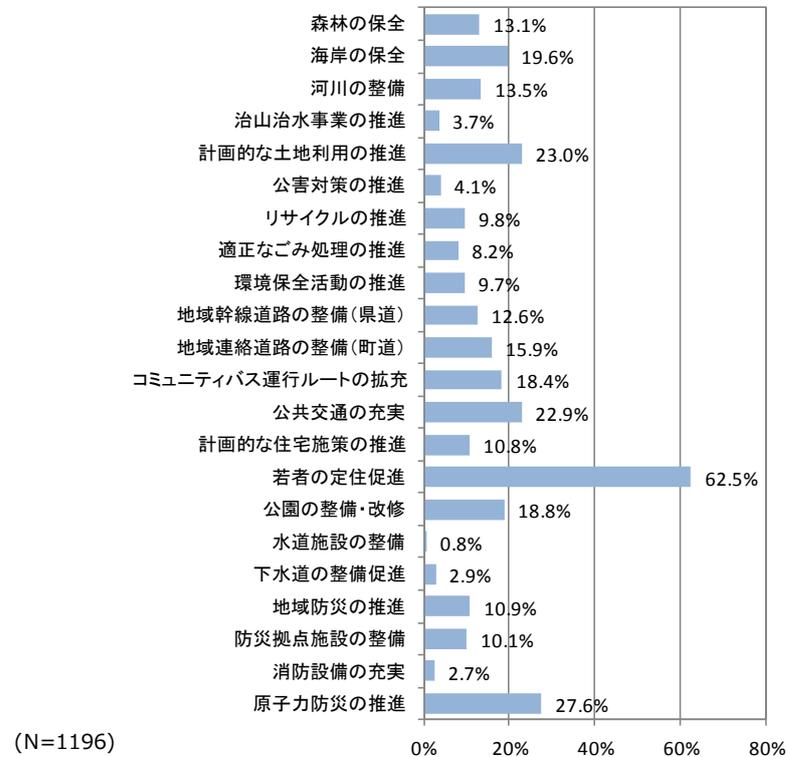
#### ②産業振興

○「企業誘致の促進」が最も多く 58.0%を占め、次いで「営農・担い手育成の支援」が 28.1%、「観光施設の整備・利用促進」が 24.2%となっています。



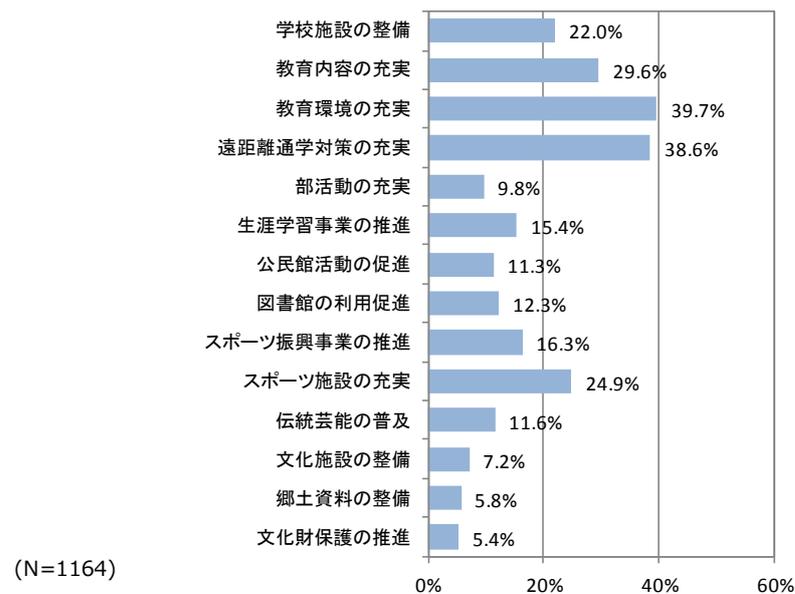
## ③生活環境

○「若者の定住促進」が最も多く 62.5%を占め、次いで「原子力防災の推進」が 27.6%、「計画的な土地利用の推進」が 23.0%となっています。



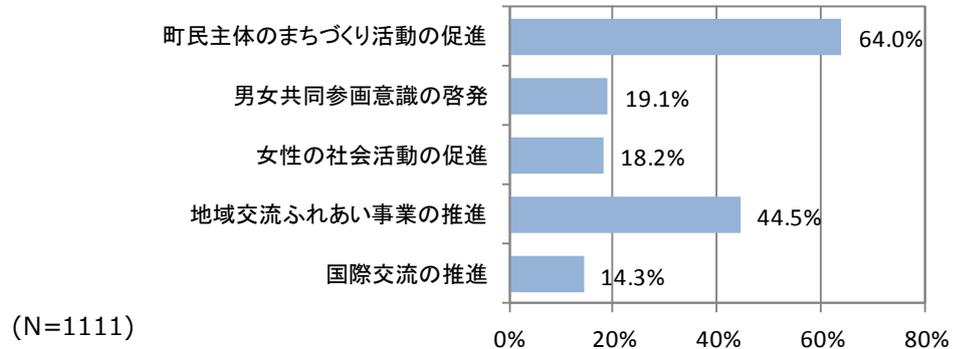
## ④教育・文化

○「教育環境の充実」が最も多く 39.7%を占め、次いで「遠距離通学対策の充実」が 38.6%、「教育内容の充実」が 29.6%となっています。



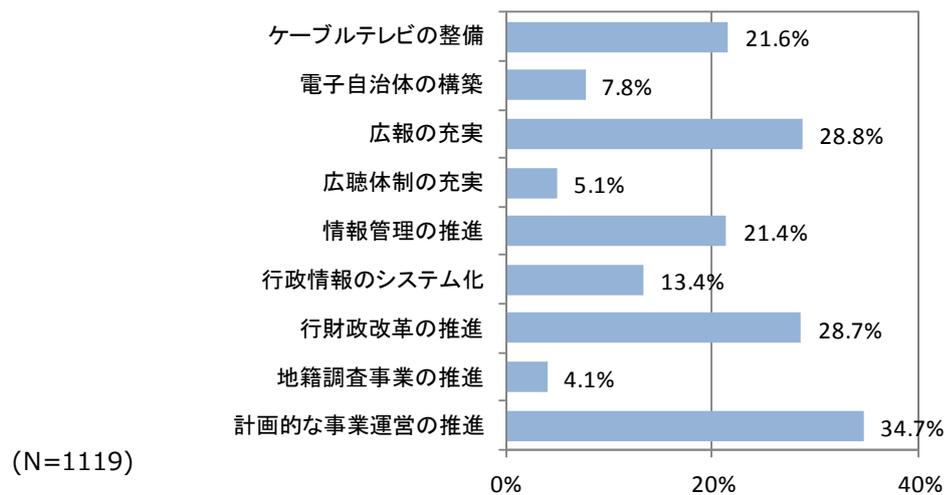
### ⑤住民参画・地域間交流

○「町民主体のまちづくり活動の促進」が最も多く64.0%を占め、次いで「地域交流ふれあい事業の推進」が44.5%、「男女共同参画意識の啓発」が19.1%となっています。



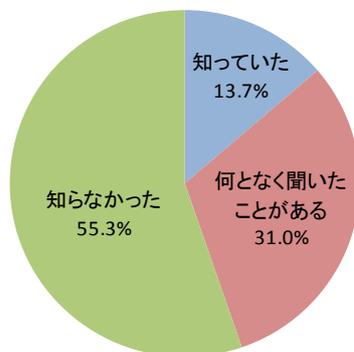
### ⑥行財政運営

○「計画的な事業運営の推進」が最も多く34.7%を占め、次いで「広報の充実」が28.8%、「行財政改革の推進」が28.7%となっています。



問 13 志賀町の人口は現在 21,870 人（2015 年 6 月時点）ですが、2040 年には 13,193 人に減少するとの「国立社会保障・人口問題研究所」の推計結果が公表されています。あなたはこの推計結果をご存知でしたか？（1つだけ○）

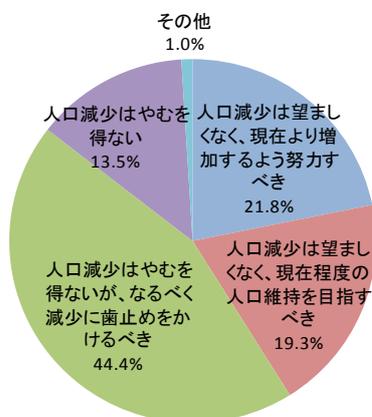
○「知らなかった」が最も多く 55.3%を占め、次いで「何となく聞いたことがある」が 31.0%、「知っていた」が 13.7%となっています。



(N=1219)

問 14 志賀町の人口が減少していくことについて、あなたはどのように思いますか？（1つだけ○）

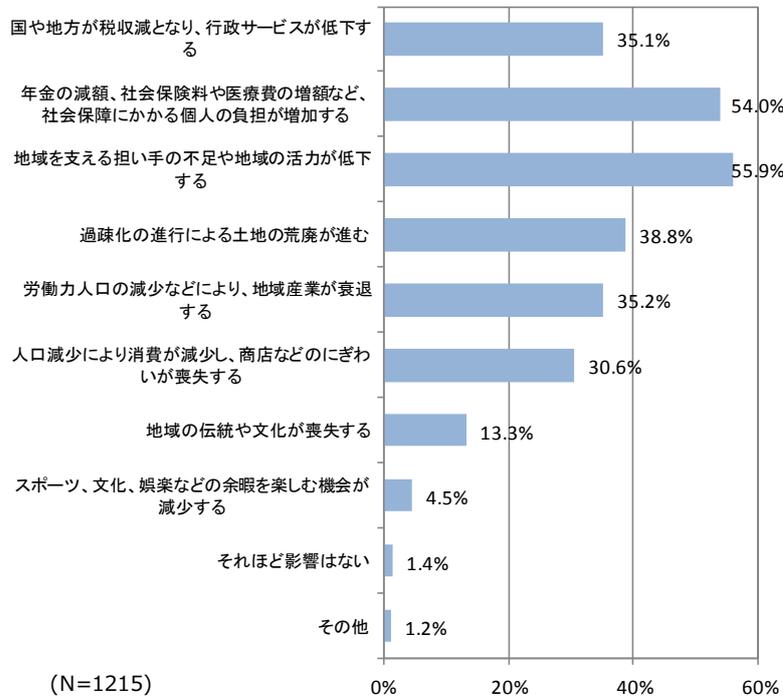
○「人口減少はやむを得ないが、なるべく減少に歯止めをかけるべき」が最も多く 44.4%を占め、次いで「人口減少は望ましくなく、現在より増加するよう努力すべき」が 21.8%、「人口減少は望ましくなく、現在程度の人口維持を目指すべき」が 19.3%となっています。



(N=1219)

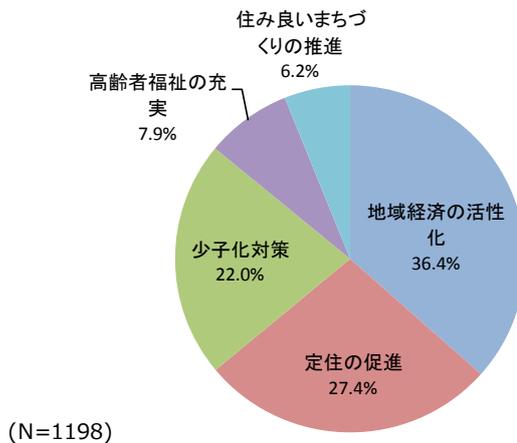
問 15 志賀町の人口減少が進行していった場合に生じる社会への影響について、影響が大きいと思うこと・不安に感じることは何ですか？（3 つまで○）

○「地域を支える担い手の不足や地域の活力が低下する」が最も多く 55.9%を占め、次いで「年金の減額、社会保険料や医療費の増額など、社会保障にかかる個人の負担が増加する」が 54.0%、「過疎化の進行による土地の荒廃が進む」が 38.8%となっています。



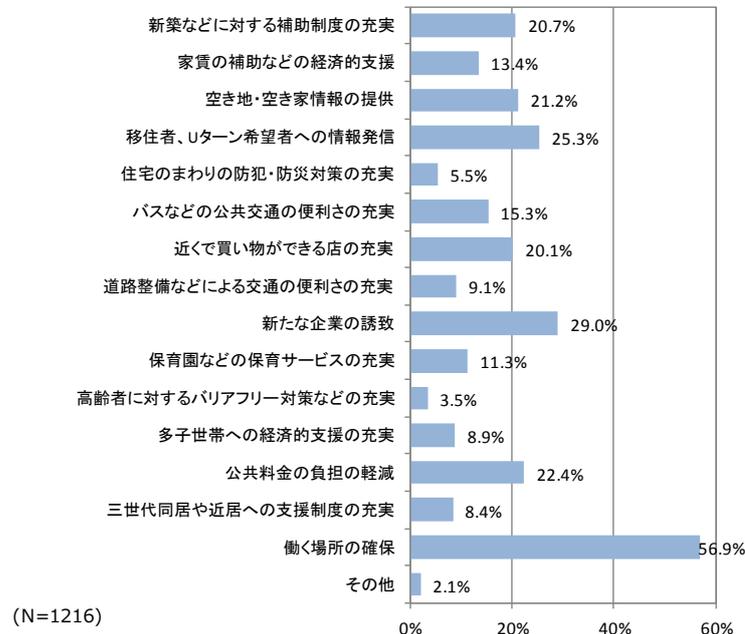
問 16 志賀町の地方創生（ひと・まち・しごとの充実）を進めていく上で、何を最も重視すべきだと思いますか？（1 つだけ○）

○「地域経済の活性化」が最も多く 36.4%を占め、次いで「定住の促進」が 27.4%、「少子化対策」が 22.0%となっています。



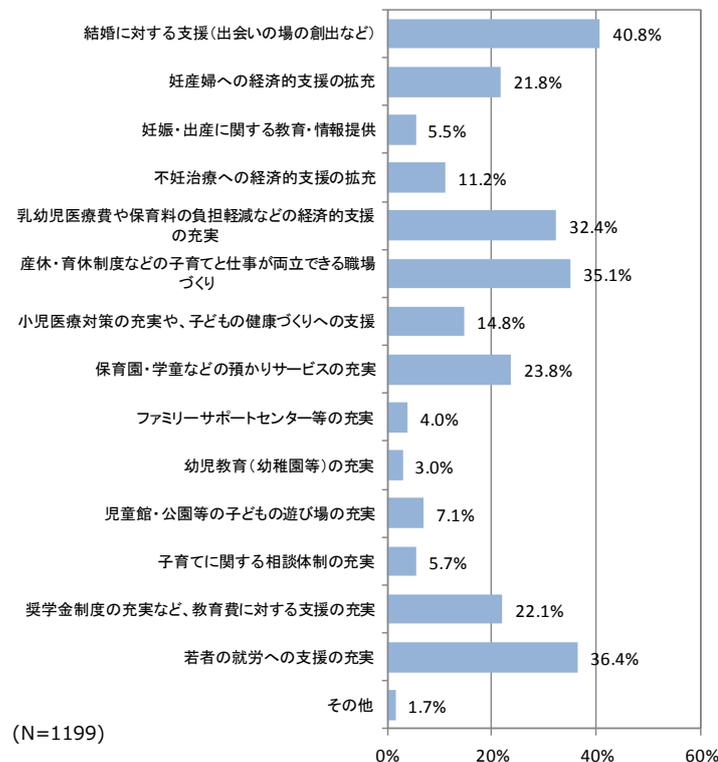
### 問 17 定住促進のために、何を重視すべきと思いますか？（3つまで○）

○「働く場所の確保」が最も多く 56.9%を占め、次いで「新たな企業の誘致」が 29.0%、「移住者、Uターン希望者への情報発信」が 25.3%となっています。



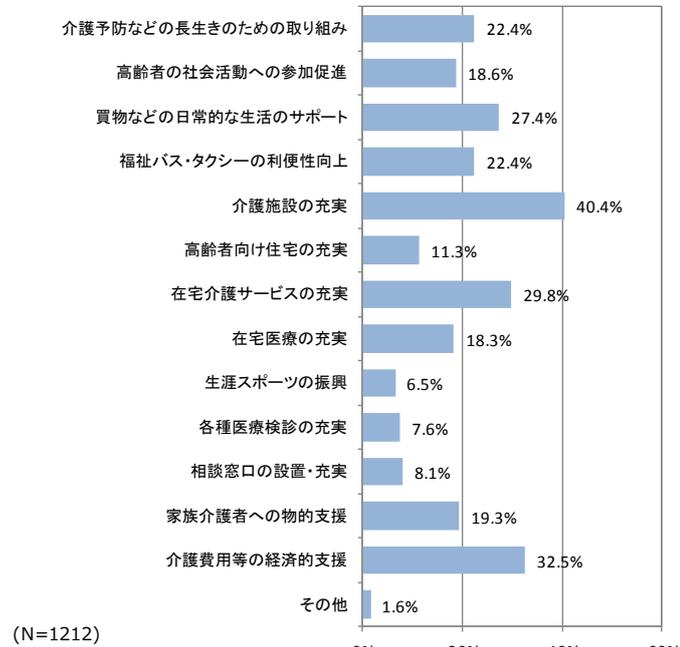
### 問 18 少子化対策のために、何を重視すべきと思いますか？（3つまで○）

○「結婚に対する支援（出会いの場の創出など）」が最も多く 40.8%を占め、次いで「若者の就労への支援の充実」が 36.4%、「産休・育休制度などの子育てと仕事が両立できる職場づくり」が 35.1%となっています。



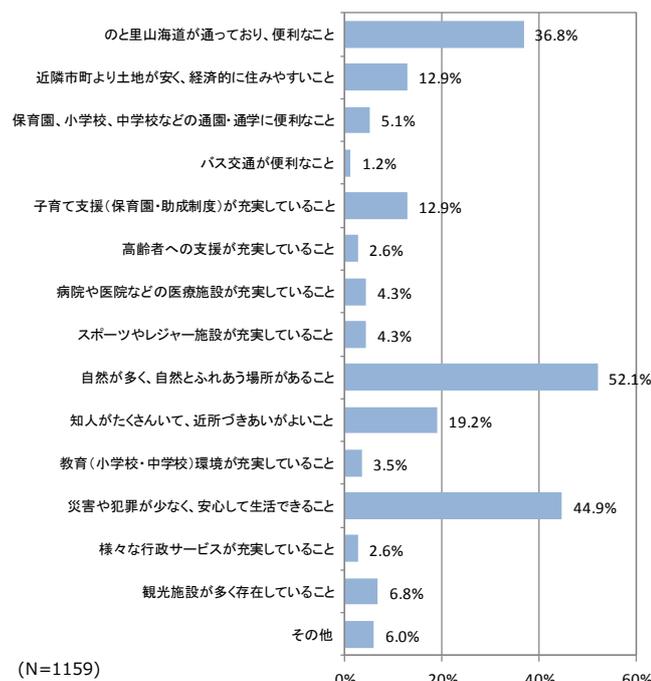
問 19 高齢者への福祉施策の充実のために、何を重視すべきと思いますか？（3つまで○）

○「介護施設の充実」が最も多く 40.4%を占め、次いで「介護費用等の経済的支援」が 32.5%、「在宅介護サービスの充実」が 29.8%となっています。



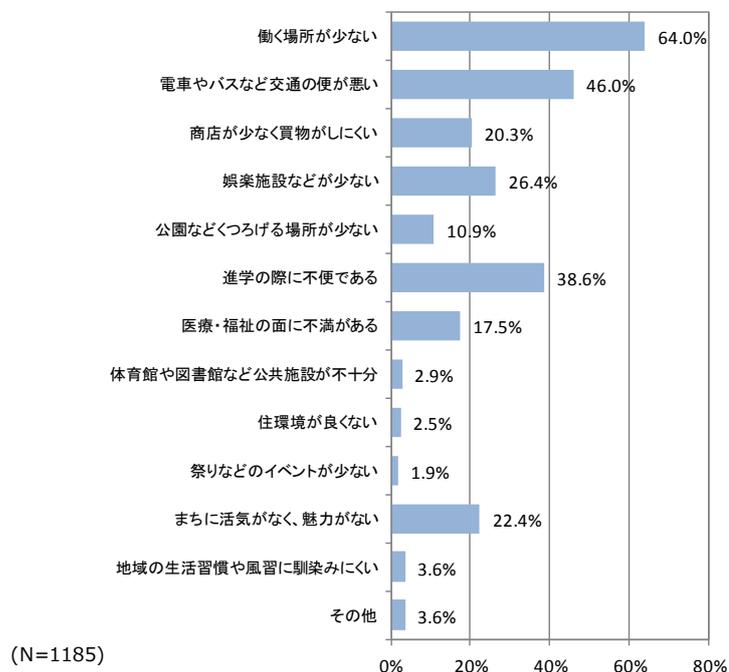
問 20 志賀町の魅力は何だと思いますか？（3つまで○）

○「自然が多く、自然とふれあう場所があること」が最も多く 52.1%を占め、次いで「災害や犯罪が少なく、安心して生活できること」が 44.9%、「のと里山海道が通っており、便利なこと」が 36.8%となっています。



### 問 21 志賀町に欠けているものは何だと思いますか？（3つまで○）

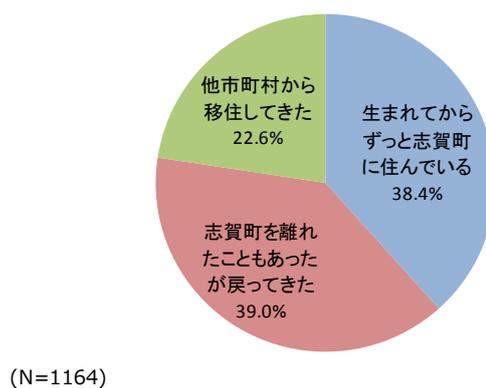
○「働く場所が少ない」が最も多く 64.0%を占め、次いで「電車やバスなど交通の便が悪い」が 46.0%、「通学の際に不便である」が 38.6%となっています。



## 4) 定住について

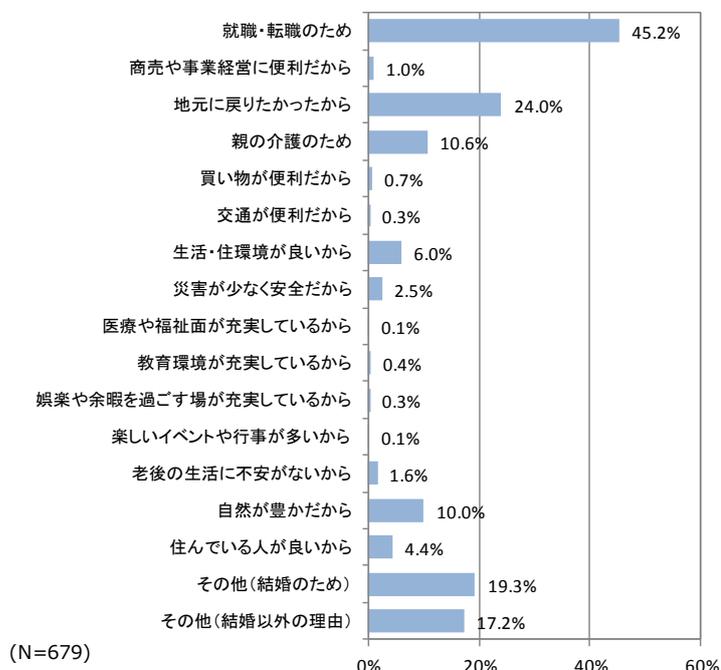
### 問 22-1 あなたは、生まれてからずっと志賀町に住んでいますか？（1つだけ○）

○「志賀町を離れたこともあったが戻ってきた」が最も多く 39.0%を占め、次いで「生まれてからずっと志賀町に住んでいる」が 38.4%、「他市町村から移住してきた」が 22.6%となっています。



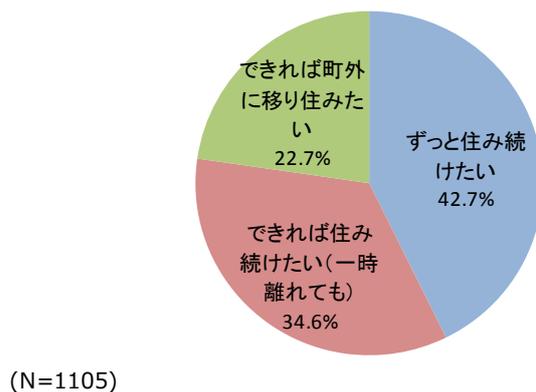
問 22-2 【問 22-1】で「2. 志賀町を離れたこともあったが戻ってきた」「3. 他市町村から移住してきた」に○をつけられた方におたずねします。志賀町に戻ってきた、もしくは移住してきた理由は何ですか？ (3つまで○)

○「就職・転職のため」が最も多く 45.2%を占め、次いで「地元に戻りたかったから」が 24.0%、「その他（結婚のため）」が 19.3%となっています。



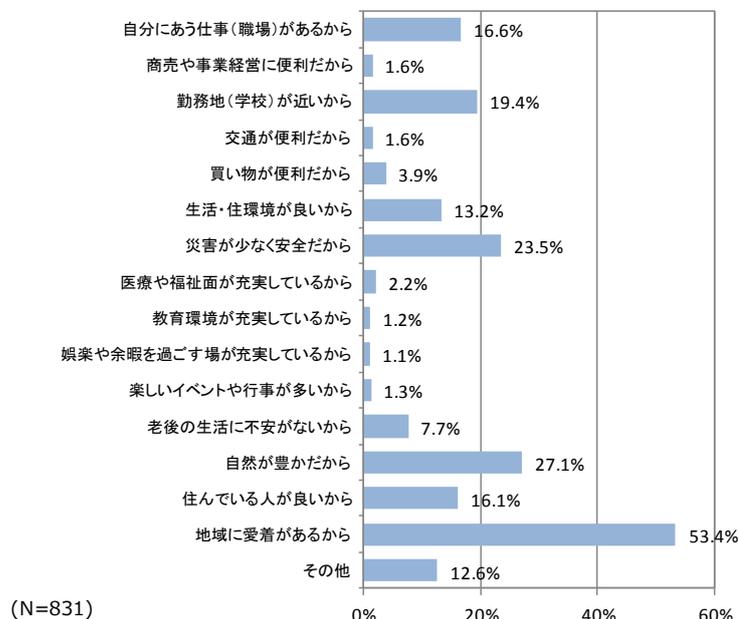
問 23-1 あなたは将来も志賀町に住み続けたいと思いますか？ (1つだけ○)

○「ずっと住み続けたい」が最も多く 42.7%を占め、次いで「できれば住み続けたい（一時離れても）」が 34.6%、「できれば町外に移り住みたい」が 22.7%となっています。



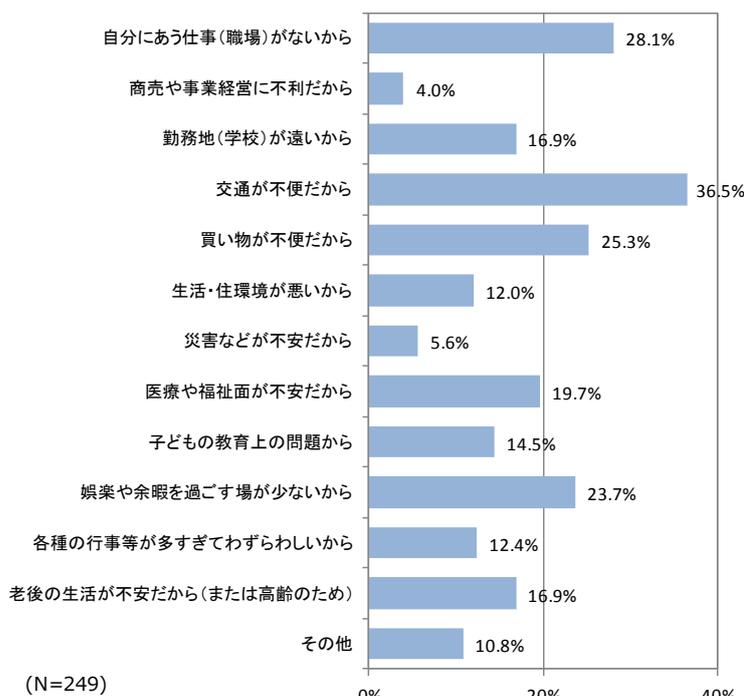
問 23-2 【問 23-1】で「1. ずっと住み続けたい」「2. できれば住み続けたい」に○をつけられた方におたずねします。主な理由は何ですか？（3つまで○）

○「地域に愛着があるから」が最も多く 53.4%を占め、次いで「自然が豊かだから」が 27.1%、「災害が少なく安全だから」が 23.5%となっています。



問 23-3 【問 23-1】で、「3. できれば町外に移り住みたい」に○をつけられた方におたずねします。主な理由は何ですか？（3つまで○）

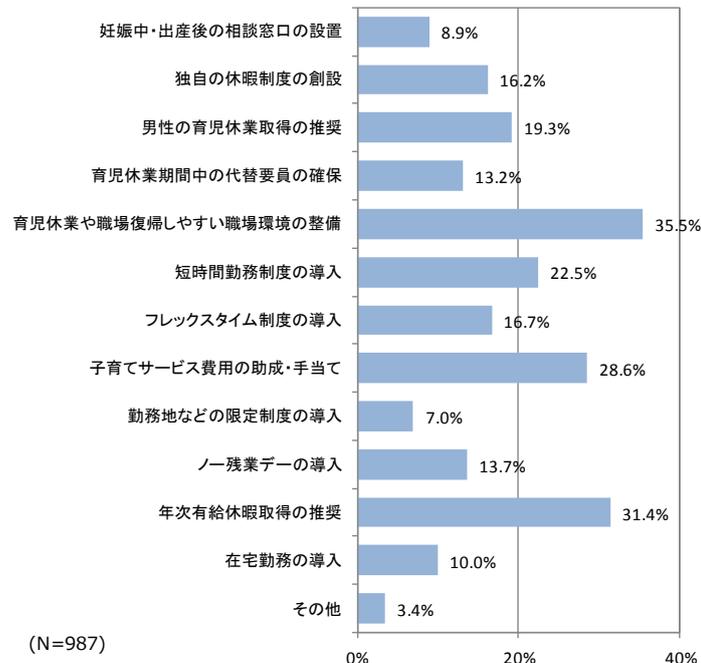
○「交通が不便だから」が最も多く 36.5%を占め、次いで「自分にあう仕事(職場)がないから」が 28.1%、「買い物不便だから」が 25.3%となっています。



## 5) 仕事のことについて

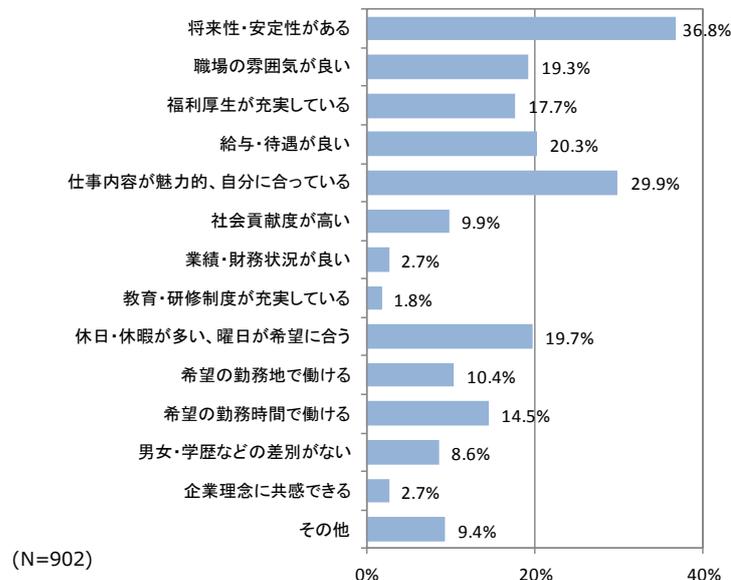
問 24 ワークライフバランス※や出産・子育て支援のために、職場で導入して欲しい制度はありますか？（3つまで○）

○「育児休業や職場復帰しやすい職場環境の整備」が最も多く 35.5%を占め、次いで「年次有給休暇取得の推奨」が 31.4%、「子育てサービス費用の助成・手当て」が 28.6%となっています。



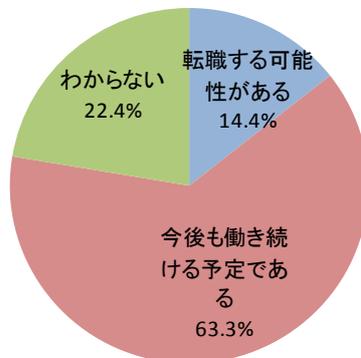
問 25 現在働かれている、もしくは今後就職される予定がある方（パートタイム含む）にお聞きします。現在の仕事を選んだ理由や就職に際して重視するものは何ですか？（3つまで○）

○「将来性・安定性がある」が最も多く 36.8%を占め、次いで「仕事内容が魅力的、自分に合っている」が 29.9%、「給与・待遇が良い」が 20.3%となっています。



問 26 現在働かれている方にお聞きします。現在の会社（職場）で、今後も働かれるご予定ですか？（1つだけ○）

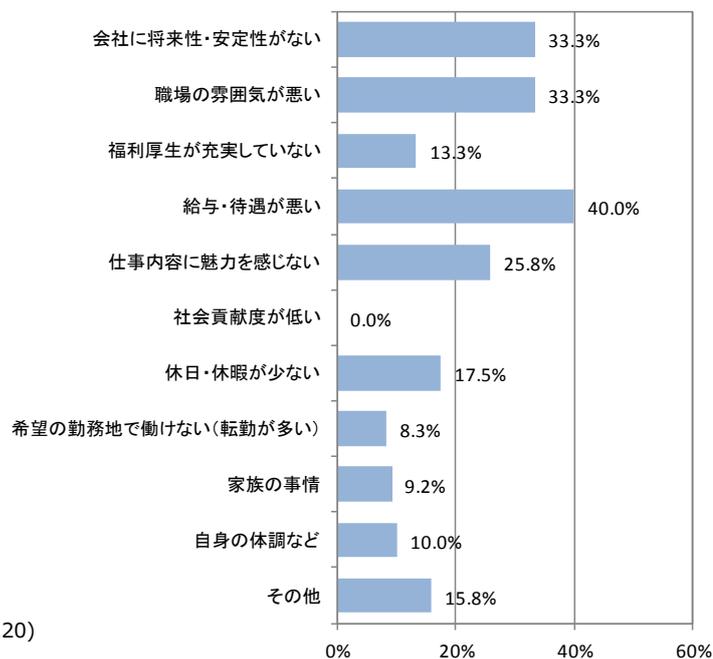
○「今後も働き続ける予定がある」が最も多く 63.3%を占め、次いで「わからない」が 22.4%、「転職する可能性がある」が 14.4%となっています。



(N=863)

問 27 問 26 で「1. 転職する可能性がある」と回答された方にお聞きします。転職する理由は何ですか？（3つまで○）

○「給与・待遇が悪い」が最も多く 40.0%を占め、次いで「会社に将来性・安定性がない」、「職場の雰囲気が悪い」がそれぞれ 33.3%となっています。

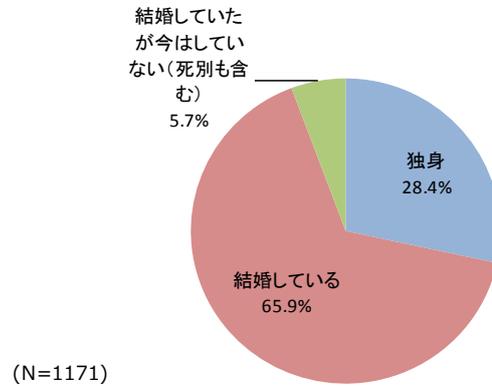


(N=120)

## 6) 結婚について

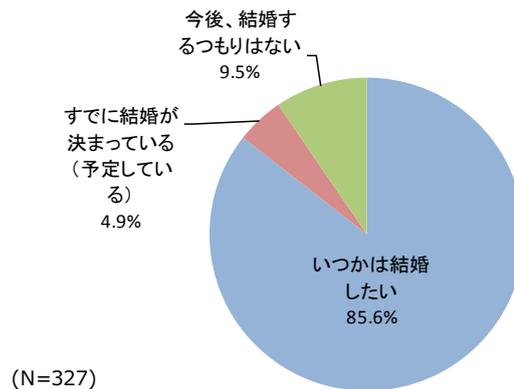
### 問 28 あなたは結婚されていますか？（1つだけ○）

○「結婚している」が最も多く 65.9%を占め、次いで「独身」が 28.4%、「結婚していたが今はしていない（死別も含む）」が 5.7%となっています。



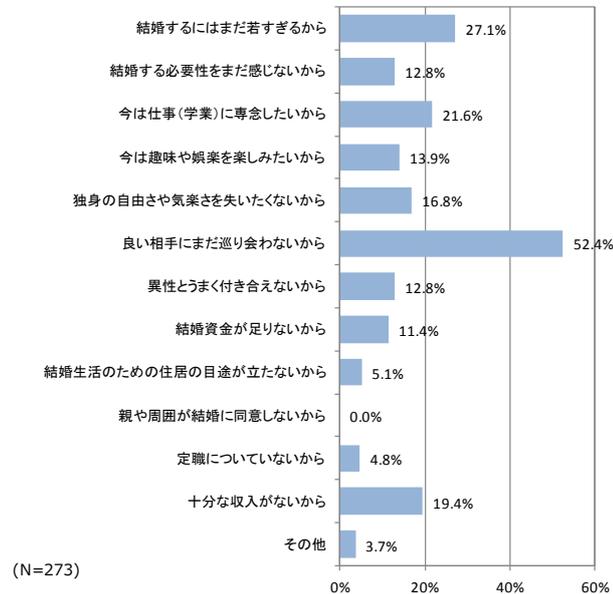
### 問 29 【問 28】で「1. 独身」と回答された方にお聞きします。あなたは将来、結婚したいと思いますか。（1つだけ○）

○「いつかは結婚したい」が最も多く 85.6%を占め、次いで「今後、結婚するつもりはない」が 9.5%、「すでに結婚が決まっている（予定している）」が 4.9%となっています。



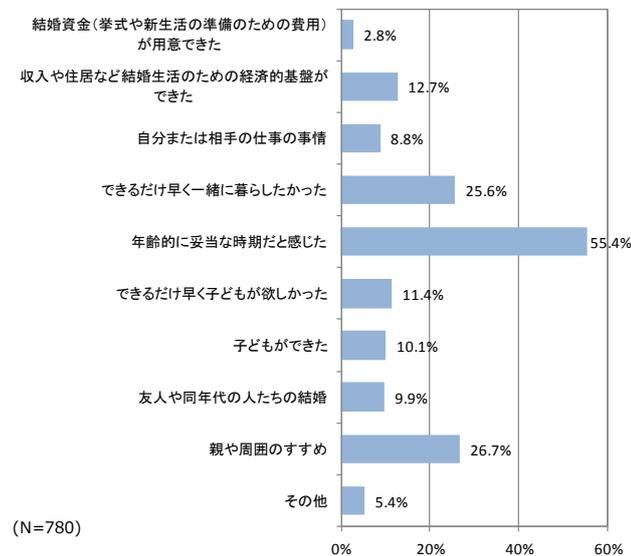
問 30 【問 29】で「1. いつかは結婚したい」と回答された方にお聞きします。あなたが現在独身でいる理由として、次の中から選ぶとしたらどれですか。（3つまで○）

○「良い相手にまだ巡り会わないから」が最も多く 52.4%を占め、次いで「結婚するにはまだ若すぎるから」が 27.1%、「今は仕事（学業）に専念したいから」が 21.6%となっています。



問 31 現在、結婚されている（予定がある）もしくは結婚されたことのある方にお聞きします。あなたが最終的に結婚を決めた直接のきっかけは何ですか？（3つまで○）

○「年齢的に妥当な時期だと感じた」が最も多く 55.4%を占め、次いで「親や周囲のすすめ」が 26.7%、「できるだけ早く一緒に暮らしたかった」が 25.6%となっています。



## 7) 自由意見

問 32 今後のまちづくりで、100年後も志賀町の宝として活かしていきたいもの、他市町村に自慢できるもの、大切にしたいものなどがありましたら、ご自由にお書きください。

○「自然環境（海・山・田・巖門など）」が最も多く、43.5%となっており、次いで「町の特産品（ころ柿、すいか、能登金時など）」が12.3%、「祭礼」が10.9%となっています。

	町の宝、自慢できるもの、大切にしたいものなど	回答数	割合
1	自然環境(海、山、田、巖門など)	191	43.5%
2	町の特産品(ころ柿、すいか、能登金時など)	54	12.3%
3	祭礼	48	10.9%
4	歴史・伝統文化(工芸など)	24	5.5%
5	人や地域のつながり・あたたかさ	24	5.5%
6	施設(能登金剛センター、道の駅、民宿など)	18	4.1%
7	イベント(太鼓、相撲大会など)	14	3.2%
8	農林水産業	9	2.1%
9	観光資源	8	1.8%
10	景勝地(海、夕日など)	8	1.8%
11	福浦港(旧福浦灯台)	6	1.4%
12	活気あるまち・まちづくり・地域性	6	1.4%
13	町の静けさ	5	1.1%
14	世界一長いベンチ	4	0.9%
15	原子力発電所	4	0.9%
16	安全・安心な環境	3	0.7%
17	図書館(歴史の書物)	3	0.7%
18	工業団地	2	0.5%
19	育児支援の体制	2	0.5%
20	美術展・版画	2	0.5%
21	町の美しさ	1	0.2%
22	成人式が能登ロイヤルホテルで行われる事	1	0.2%
23	人口減少の歯止め対策	1	0.2%
24	バスの利便性	1	0.2%
	計	439	100.0%

## 問 33 志賀町のまちづくりについて、ご意見・ご要望などがあれば、ご自由にお書きください。

○「雇用対策・産業振興」に対する意見が 13.6%と最も多く、次いで「行政に対する意見」が 10.6%、「子育て・教育支援」が 8.6%となっています。

	分類	主な意見	回答数	割合
1	雇用対策・産業振興	・企業誘致で働く場を提供すべき ・若者が地元に戻っても安心して働く事ができる場所を確保すべき ・農林水産業を主体とした町づくりを進めてほしい	76	13.6%
2	行政に対する意見	・若者に対する活動や補助事業が少ない ・全てのサービスにおいて情報提供の場、情報量が少ない ・耕作放棄地や放置空家を増やさない施策を進めてもらいたい	59	10.6%
3	子育て・教育支援	・子育て支援を充実してほしい(助成金、祝い金の増額) ・放課後クラブについて、もっと地域に充実させて欲しい ・子供の教育サービスを充実してほしい	48	8.6%
4	移住・定住・Uターン支援	・空き地、空き家情報を充実させて欲しい ・安価な町営住宅を整備してほしい	42	7.5%
5	商業施設・娯楽施設	・ホームセンターや買物施設などをもっと充実してほしい ・ファミレスやカフェなどの飲食店を増やして欲しい	36	6.5%
6	交通環境	・公共交通機関を充実させてほしい ・コミュニティバスは冬の積雪時など回数回利用していて助かる	25	4.5%
7	アンケート・意見聴取	・今回のように意見の言える仕組みがあるのが良かった ・このアンケートを無駄にしないことを願いたい	22	3.9%
8	インフラ整備・土地利用	・道路整備されてない ・人が住んでいない広大な土地をもっと要領よく使ってほしい	21	3.8%
9	高齢者・障害者支援	・地域包括ケアの推進を図ってほしい ・障害者の生活環境の充実をもっと図るべきだと思う	21	3.8%
10	公共施設	・スポーツ施設や文化施設の充実を進めてもらいたい ・大型遊具がある公園を充実してほしい	21	3.8%
11	地域おこし(イベントの実施)	・富来の八朔祭(キリコ祭り)をもっと宣伝して残していきたい ・若者主催のイベントを実施してほしい	20	3.6%
12	教育環境・施設	・子供たちが安心安全に学習できるような環境を整備してほしい ・体育館、図書館、グラウンド周辺に教育関係を集めることが必要	19	3.4%
13	地域の魅力創出・PR	・田舎を前提としたまちづくりを推進してはどうか ・今ある志賀町の良さを伸ばしてもらい、他府県にPRしてほしい	18	3.2%
14	原発に対する意見	・原発の事を町全体で考え上手につきあってほしい ・これからの子供たちに明るい未来が訪れる様原発の無いまちづくりをお願いしたい	17	3.1%
15	出会い・結婚支援	・婚活を町ぐるみで開催し、志賀町に定住する場合祝い金を出すのはどうか ・未婚の男女がつどえる場や出会いの場があると良い	14	2.5%
16	生活環境	・外灯が少ない ・イノシシやハクビシンなどを積極的に駆除して欲しい	14	2.5%
17	医療・福祉	・高齢者の増加による医療費補助や介護負担の軽減が必要 ・小児医療をもっと充実させるべき	12	2.2%
18	観光促進	・観光イベントを実施するとよい ・自然体験ができるような施設や大きな公園をつくってほしい	10	1.8%
19	地域格差	・地域格差の是正を願いたい(旧志賀町と旧富来町の格差)	9	1.6%
20	自然環境	・今後もこの自然を大切に生活して行きたい ・増穂浦海岸の保全等の対策を早急に行なってほしい	7	1.3%
21	安全・安心	・災害に強いまちづくりの推進(地域の組織づくり)	7	1.3%
22	地域交流の場	・親子のふれあいや地域との関わりの機会、内容の充実を求める	7	1.3%
23	町の問題意識の共有	・志賀町に住む人たちがみな同じように「よくするには・・・」と考えることや、地域で子どもを育てていこうという意識を高めていくことが重要だと思う	4	0.7%
24	その他	・「志賀町ってどこ？」と聞かれないような賑やかな町にして欲しい ・3世代でずっと志賀町にいたいと思っている ・子供や若い人達が少なく、先行きが不安	28	5.0%
	計		557	100.0%



発行 平成27年10月

志賀町 〒925-0198 石川県羽咋郡志賀町末吉千古1番地1

TEL:0767-32-1111 FAX:0767-32-3933